

アメリカ50都市との比較を通して見た 川崎市の都市競争力に関する一考察

望 月 宏

小論の目的

川崎市の持つ競争力については、日本の他の政令指定都市と比較する試みがされてきた。しかし、海外の国、例えばアメリカの諸都市と比べるとという試みはされていない。この小論は、川崎市をアメリカの諸都市の中に置いたと仮定した場合、競争力という観点から見ると、どの程度のランクに位置するのかを探り、国際的な視点から見た川崎市の特徴、その競争上の優位点、不利な点を客観的に分析し、川崎市の将来の競争力向上を考えるための一つの試みである。

競争力の定義と都市間競争の重要性

言うまでもなく、バブル崩壊後の景気後退からようやく抜け出しつつある現在の日本経済にとって、今後の大きな課題の一つは、これまで以上にグローバル市場での熾烈な競争に勝ち抜く競争力の強化である。こうした国全体の競争力は、企業、産業の競争力と深く関連し、同時に、それらの立地する場の競争力にも大いに関わりがあるものとの小論では考えている。国レベルの競争力としては、スイスのIMD（国際ビジネス教育・研究機関）、あるいは、The Global Competitiveness Report^(注1)などがあり、比較的なじみがあるが、都市が競争力を持つという考え方は、現在の日本では未だ確たる市民権を得ているとはいえない。さらに言えば一般に「競争力」についてはあまりに頻繁に、多種多様な機会で使われるためその定義については一様ではない。生産性、比較生産費上の優位性などとの関連も指摘されるが、ここでは競争力を「市場において他の市場参加者と比較した場合の開発、製造、販売等における競争優位性」と仮に定義すると、例えば、企業の独自技術、高品質かつ低コストの生産技術などはその典型となる。このように企業のレベルで考えると比較的理解しやすい概念であるが、これを都市へとあてはめようとすると困難さを感じるのでないであろうか。

しかしながら、アメリカの都市の間においては企業や研究機関、優れた人材をめぐり誘致合戦

注1) Michael Porter, "The Current Competitiveness Index: Measuring the Microeconomic Foundations of Prosperity," in World Economic Forum, The Global Competitiveness Report 2000. Oxford University Press, New York, 2000

が存在する。各都市は企業、研究者にとって好ましい環境を競って整備しているのである。また、都市ごとに、競争上強い産業を認識し、重点的に戦略的に資金を配分したり、弱い部分の改善を促す努力をしている。このような「都市間競争」が実際に起きているアメリカに比べ、日本ではこれに関する認識が少なく、そのため都市間の競争力という考え方が理解されにくい。

しかし、日本では今後地方への財源委譲が進む中で、地方は今以上に地方の効率的な行政サービスの提供、財源確保の強化を図りつつ、自立性を高めてゆかねばならない。その際、特にその中核都市の役割はますます重要になり、有力企業の誘致、技術、開発力の向上、雇用、所得の拡大などに力を入れていかねばならないと考える。そのためには都市の持つ環境、特に企業にとって事業展開、起業、労働力確保、技術力などの環境が重要であることは言うまでもないことである。そして、これらは都市競争力の主要な部分を形成しているのである。

アメリカで都市の競争力が注目されるようになった背景には、マイケルポーターの考え方、すなわち、「繁栄のミクロ的基盤」である地方は、企業が付加価値の高い財とサービスを提供し、実際に富を形成しているところであり、マクロ経済の繁栄はこうした活性化されたミクロ的基盤の上に立っているという考え方である。(注2) この考え方を実際に取り入れて都市、町、郡レベルで実践した努力の結果がITの導入などと並びアメリカ再生の一つの大きなファクターとなっていることを忘れてはならない。

こうした地方のミクロレベルの集大成としてマクロレベルの成果につながることを考えると、地方の都市間の競争力に大きな関心を寄せざるを得ず、その指標を作成する意義を確認できよう。

サフォーク大学の競争力指標

アメリカにおいては、都市間競争力の指標がSuffolk（サフォーク）大学のBeacon Hill Instituteから毎年公表されている。ここではアメリカの50州に加えて、中核都市を核とした周辺地域を含む大都市圏を指す50メトロポリタンエリアについて、競争力のランク付けを行っている。(注3) サフォーク大学にはこのオープンリサーチプロジェクトで2004年秋に訪問し、David G. Tuerck所長にお会いしたことが契機となりこの小論をまとめることが出来たため、所長に対しここで深い感謝の気持ちをお伝えしたい。

この競争力指標の意義は、「競争力が高いほど経済パフォーマンスが高い」という仮説に基づくものである。

実際、サフォーク大学は都市レベルとは別に州レベルで同様な競争力指標を作成しているが、この州レベルの競争力指標と一人当たり実質所得との回帰式の結果はサフォーク大学によれば以下のとおりである。(なお、ここで使われている競争力インデックスはサフォーク大学のオリジナルの指標を使用している)

$$\begin{aligned} \text{一人当たり実質所得} &= 21,726 + 1,626 \text{ 競争力指標,} \\ &t \text{ 値 (10.3) (3.9)} \\ &R^2 = 0.24 \end{aligned}$$

注2) Michael Porter, The Competitive Advantage of Nations, "Free Press, New York, 1990

注3) Metro Area and State Competitiveness Report 2003, Beacon Hill Institute of Suffolk University, Boston, 2003

この結果を見て、この程度では有効な関係とはみなさないという意見もあるが、サフォーク大学ではこの種の指標としては正の相関関係が見られるとして評価し、先ほどの仮説が支持されると考えている。このように競争力が高い地方は高い経済パフォーマンスを遂げ、その結果として、地方の集大成としてのマクロ経済全体が活性化するという「繁栄のミクロ的基盤」を説明している。

さて、ここで分析に急ぐ前に、サフォークモデルの競争力指標の前提と特徴について理解しておく必要がある。このモデルではそれぞれの指標は平均化、正規化され、競争力に対してプラスに働くのか、それともマイナスに働くのかについての判断はあるが、それぞれの指標が互いにどのような形で関係しあっているかについては明言されていない。また、長期の競争力に力点を置いているとされているものの、短期の指標も混在している。

しかし実際に指標間の関係をモデル化することの困難性は十分に理解できることに加え、同様な他の分析に比べ、より多くの都市とより広範囲な観点から指標が選出されている点、また、毎年分析が継続されている点を考慮すると近似値としても多くの利点が存在すると考えることが出来る。分析を行う上ではこうした制限があることを十分に承知されたい。(注4)

さて、サフォークモデルではポーターの良く知られたダイヤモンドフレームワーク分析、すなわち「利用可能な経済投入資源の質」、「地方の需要レベルの高度化」、「地方の財サービスの供給者の性質」、「供給者のクラスター形成の程度」、そして「市場を支配するルールと組織」の考え方を使得、次の9つのサブインデックスを設けた。

9つのサブインデックスは、それぞれ行財政政策、安全性、都市インフラ、人的資源、科学技術、金融、オープン性、国内競争、環境政策である。ここで注意すべき点は、これら指標は基本的に企業がビジネスを行う上で有利であると考えられるという視点で組み立てられている点である。例えば、企業にとって見れば、税率の低い都市、安全な都市、教育レベル、科学技術レベルの高い都市はそうでない都市に比べれば高い競争力を持つとされている。

注4) 例えば Robert Atkinson, Randolph Court and Joseph Ward, The State New Economy Index, Progressive Policy Institute, July 1999

Robert Atkinson and Paul Gottlieb, The Metropolitan New Economy Index, Progressive Policy Institute and Center for Regional Economic Issues, April 2001.

William Beach and Gerald Of Driscoll Jr., Methodology: Factors of the Index of Economic Freedom, in 2001 Index of Economic Freedom, Heritage Foundation, Washington DC, 2001.

Patricia Flynn et al., Index of the Massachusetts Innovation Economy 2001, Massachusetts Technology Collaborative, Westborough, Massachusetts, November 2001.

9つのサブインデックス

行財政政策

税収/市民総生産	市債ボンドレート
----------	----------

安全性

10万人の住民あたりの凶悪(強姦・暴行)犯罪発生率	10万人の住民あたりの窃盗発生率
10万人の住民あたりの殺人発生率	

都市インフラ

インターネット接続率	通勤時間
家賃の平均値	

人的資源

国民健康保険料の未納入率	18歳時点の高校卒業比率
25歳以上における学歴高卒以上人口比率	労働組合組織率
失業者当たり失業給付金	失業率
学位認定学校に登録された学生数の人口千人あたり比率	労働力に占める15歳から64歳成人比率
海外生まれ比率	1,000人当たり乳児死亡率
10万人当たり医師数	

科学技術

10万人当たり特許	10万人当たり市内大学の理系大学院学生数
労働力に占める科学者、技術者の比率	

金融

1人当たり預金額	ベンチャーキャピタル投資の市内総生産に対する比率
----------	--------------------------

オープン性

1人当たり輸出額

国内競争

10万人あたりの純事業所数増減

環境政策

電力料金	深刻な汚染の年間日数
------	------------

「行財政政策」サブインデックスは高い税率の都市を避けるとともに、金融基盤がより健全である都市が好ましいと考え、税率とボンドレートの指標で構成される。

「安全性」サブインデックスは都市の安全性の価値はアメリカでは特に高く、窃盗、殺人など都市の安全度を示す指標で構成される。

「都市インフラ」サブインデックスは、いわゆる物理的なインフラ整備というより、通勤の容易さ、インターネット接続、家賃レベルなどのソフト関連の指標である。

「人的資源」サブインデックスは高卒、高学歴の労働力、労働組合組織率、教育レベル、開業医師など全体的な人的資源に関する指標で構成される。

「科学技術」サブインデックスはパテント取得や理系大学院生、科学者、エンジニアの労働力指標で科学の担い手や技術力を示す。

「金融」サブインデックスは都市の金融力ともいうべき、一人当たり預金額とベンチャーキャピタルを指標としている。実は、このサブインデックスには生活費、消費者物価の指数がサフォ

ークモデルには組み込まれているのだが、実数ではなく指数化されているため比較できず、小論では採用できなかった。

「オープン性」サブインデックスは、輸出を積極的に行って世界とリンクしている企業は競争的になるとの仮定のもとで、輸出のウエイトの高さの指標を採用。アメリカでは一般的に日本に比べ海外への関心が疎く閉鎖的になりがちであるため、このような指標が特に取り入れられたものと考えられる。

「国内競争」サブインデックスは、新規企業の創出から撤退企業を引いた純増ベースを見ることにより当該都市の国内の競争環境を見ようとするものである。この小論では事業所数をあてている。

「環境政策」サブインデックスは、環境汚染の進む地域へは企業進出が進まないと仮定し、汚染の指標で構成される。

計測の実際

今回の分析には、アメリカの都市競争力を計算する上で必要な実データが公表されているサフオーク大学の2003年版を利用した。したがって、データは主として2001年～2002年のものである。この中において比較可能な実データで構成されたものに限り、サブインデックスを構成する指標を28系列選出した。実際の計算過程は、以下のとおり。

アメリカの50都市データに川崎のデータを加え、新たに51都市のランク付けを行う。次に、平均を5、標準偏差が1になるように、データを正規化する。

サブインデックスごとに、正規化されたデータを平均する。次に、これを再び平均5、標準偏差1に正規化する。

すべてのサブインデックスを平均化し、再び同じ方法で正規化を行い、最終的な競争力のインデックスとする。

この計算過程から理解されるように、競争力指標は平均が5であり、5を上回る都市は平均以上の都市であり、それを下回る都市は平均以下である。

両国のデータを比較する上で両国の社会、経済のシステムの違いにより、単純に比較できないものが多かったが、出来るだけアメリカのデータに近いデータを探す努力を行った。ここで断っておきたい点としては、データの取得年度にどうしても差が生じる場合、例えば日本のデータが国勢調査を基にしており5年ごとにしか取れないような場合や、データの情報開示上県レベルまでしか取れない場合など、厳密に言えば比較にはならないが、近似値としては意味がある場合はこれを採用している。このため全体の計測結果はある程度の誤差を伴うものであることをご承知願いたい。

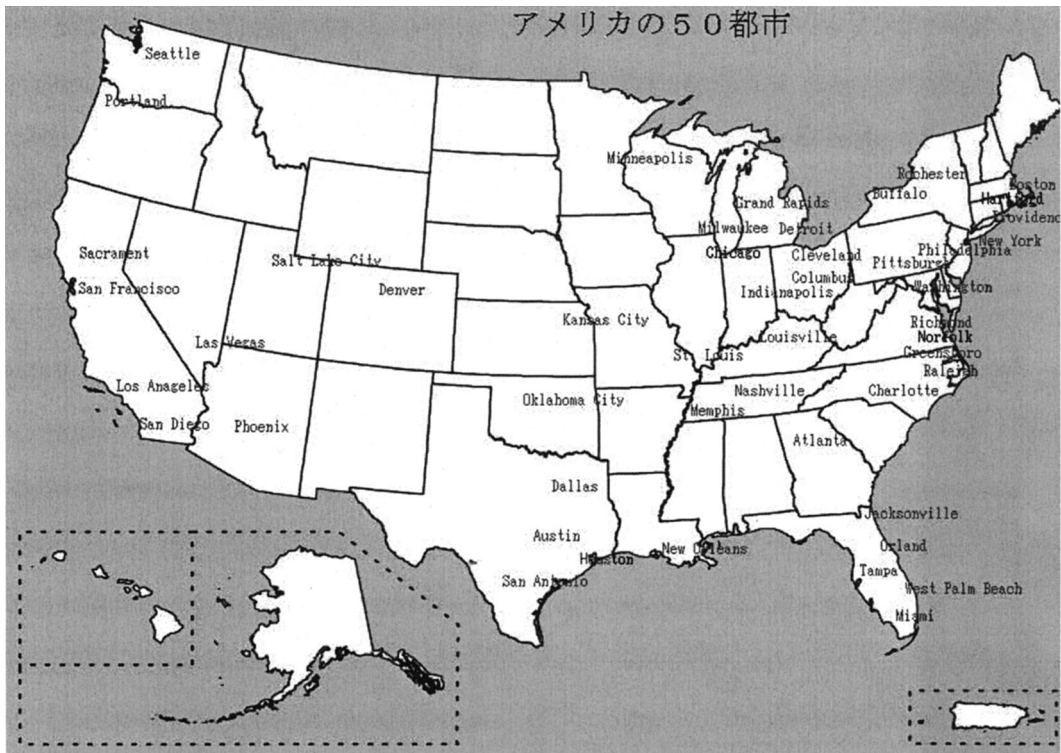
分析結果

アメリカのメトロポリタンエリア（都市）に川崎を加えた競争力指標

ランク		競争力 指標	ランク		競争力 指標
1	Seattle	7.71	27	Cleveland	4.80
2	Boston	7.40	28	Norfolk	4.80
3	San Francisco	7.34	29	KAWASAKI	4.79
4	Minneapolis	7.26	30	Louisville	4.72
5	Denver	6.68	31	Milwaukee	4.70
6	Portland	6.24	32	West Palm Beach	4.70
7	Salt Lake City	6.03	33	Chicago	4.63
8	Raleigh	5.92	34	Oklahoma City	4.56
9	Kansas City	5.69	35	Tampa	4.53
10	Richmond	5.59	36	Detroit	4.53
11	Grand Rapids	5.40	37	San Antonio	4.48
12	Indianapolis	5.39	38	Las Vegas	4.47
13	Austin	5.37	39	Houston	4.47
14	Cincinnati	5.30	40	Orlando	4.42
15	Providence	5.26	41	Los Angeles	4.36
16	Rochester	5.21	42	Nashville	4.30
17	Hartford	5.18	43	Atlanta	4.27
18	St. Louis	5.13	44	Jacksonville	4.11
19	Pittsburgh	5.12	45	Buffalo	4.08
20	Sacramento	5.06	46	Philadelphia	4.07
21	Charlotte	5.03	47	Dallas	4.03
22	Greensboro	5.03	48	New York	3.81
23	San Diego	5.00	49	Miami	3.61
24	Washington	4.95	50	Memphis	3.20
25	Phoenix	4.89	51	New Orleans	2.60
26	Columbus	4.81			

また、川崎市の貴重なデータについては、市の多大なご協力により提供させていただいたことに対して、深い感謝の気持ちを表したい。

分析結果から言えることは、アメリカ諸都市の中でのランクの中で見た川崎市の総合的な競争力指標は、4.79で、第29位となった。San Diego（第23位）がちょうど5.00で平均であり、川崎はこの平均よりやや下に位置する。



川崎市はマイクロソフトの本社のあるSeattle、学術、医療で名高いBoston、西海岸の雄San Franciscoのトップ3に比べ残念ながら大きく離されている。しかしよく知られたLos Angeles（第41位）、Philadelphia（第46位）、New York（第48位）、より上位に位置する。また、川崎市と同様な歴史を持ち、製造業から知識産業への脱皮に成功したPittsburg（第19位）とは同じ平均レベルにランクされている。なお、最下位のNew Orleansはハリケーンにより甚大な被害が出たことは記憶に新しいが、これも長い間指摘されてきたものの財源難などから対策が取れなかったことが一因であり、都市としての問題を大きく抱えていることが容易に想像される。

次に、9つのサブインデックスについて各指標とあわせて考察することとする。各指標の詳細は別添資料をごらんいただきたい。

「行財政政策」サブインデックス

1	Dallas	6.68	18	Atlanta	5.48	35	Orlando	4.68
2	KAWASAKI	6.35	19	Phoenix	5.38	36	San Diego	4.65
3	Nashville	6.28	20	San Francisco	5.37	37	Chicago	4.63
4	Raleigh	6.26	21	Las Vegas	5.34	38	Jacksonville	4.54
5	Greensboro	6.26	22	Cincinnati	5.32	39	Cleveland	4.40
6	Austin	6.25	23	Kansas City	5.24	40	New Orleans	4.18
7	San Antonio	6.25	24	Salt Lake City	5.18	41	Washington	4.17
8	Charlotte	6.21	25	Richmond	5.16	42	Milwaukee	4.03
9	Memphis	6.10	26	Norfolk	5.16	43	Hartford	3.92
10	Portland	5.94	27	Grand Rapids	5.14	44	Pittsburgh	3.76
11	Seattle	5.85	28	Boston	5.04	45	Providence	3.69
12	Indianapolis	5.85	29	Louisville	4.98	46	Miami	3.53
13	Houston	5.81	30	Oklahoma City	4.91	47	Philadelphia	3.38
14	Denver	5.80	31	Minneapolis	4.82	48	Rochester	3.35
15	St. Louis	5.71	32	Sacramento	4.80	49	New York	3.28
16	Columbus	5.55	33	Los Angeles	4.80	50	Detroit	3.26
17	West Palm Beach	5.55	34	Tampa	4.68	51	Buffalo	2.05

指標は6.35で第2位と高水準にランクされているが、これは市債のボンドレートは4.37と低いものの、税率が最も低く7.79とトップであるためである。現在は税率がアメリカ国内に比べ川崎市は低いが、地方財政が今後大きな変化を見せるため、将来の税率アップが心配される場所である。また、ボンドレートは日本の国債のレートがStandard & Poor'sでダブルAマイナス、Moody'sがシングルAであり、地方債はこれを上回ることが出来ないため、この低位置になっている（第39位）。今後日本の経済パフォーマンスの向上が見られれば、国債のボンドレートも上昇し、つれて地方債全体の底上げが期待される。一方Seattleをはじめトップの10都市がAAA（トリプルA）と最高ランクであり、大きく差をつけられた観がある。なお、付け加えると、New Yorkがこれほど低いのは、過去に、デフォルトを起こしたためである。

「安全性」サブインデックス

1	KAWASAKI	7.20	18	Buffalo	5.56	35	Detroit	4.56
2	Boston	6.73	19	Portland	5.47	36	Los Angeles	4.53
3	San Diego	6.43	20	Louisville	5.35	37	Milwaukee	4.50
4	Pittsburgh	6.31	21	Salt Lake City	5.28	38	Kansas City	4.35
5	Chicago	6.26	22	Cincinnati	5.27	39	Houston	4.34
6	Grand Rapids	6.24	23	Norfolk	5.16	40	Richmond	4.31
7	Providence	6.17	24	Indianapolis	5.14	41	Jacksonville	4.23
8	Minneapolis	5.99	25	Washington	5.04	42	St. Louis	4.20
9	Hartford	5.97	26	Philadelphia	4.96	43	Phoenix	4.19
10	Rochester	5.89	27	Raleigh	4.94	44	Nashville	4.17
11	New York	5.70	28	Orlando	4.91	45	Columbus	4.14
12	Seattle	5.63	29	Greensboro	4.88	46	Charlotte	4.06
13	Sacramento	5.59	30	West Palm Beach	4.85	47	Dallas	3.99
14	Cleveland	5.59	31	Tampa	4.82	48	San Antonio	3.89
15	Denver	5.58	32	Las Vegas	4.74	49	Miami	3.25
16	San Francisco	5.58	33	Oklahoma City	4.66	50	New Orleans	2.40
17	Austin	5.56	34	Atlanta	4.60	51	Memphis	1.83

指標は7.20とトップである。窃盗はNew York、Bostonについて第3位の他は、凶悪犯、殺人件数が最も低くトップとなる。これを見ても、アメリカの諸都市の中では川崎市はまだまだ安全な都市である。

「都市インフラ」サブインデックス

1	Buffalo	6.37	18	Norfolk	5.69	35	Boston	4.46
2	Portland	6.37	19	Salt Lake City	5.67	36	Orlando	4.42
3	Cincinnati	6.23	20	Richmond	5.67	37	Charlotte	4.38
4	Providence	6.18	21	Hartford	5.65	38	West Palm Beach	4.29
5	Minneapolis	6.14	22	Jacksonville	5.64	39	Los Angeles	4.27
6	Grand Rapids	6.06	23	Rochester	5.48	40	Raleigh	4.25
7	Kansas City	6.01	24	San Antonio	5.31	41	New Orleans	4.24
8	Seattle	6.00	25	Detroit	5.31	42	Dallas	4.20
9	Oklahoma City	5.98	26	Indianapolis	5.27	43	Philadelphia	4.13
10	Columbus	5.95	27	St. Louis	5.26	44	Austin	4.12
11	Tampa	5.86	28	Phoenix	4.90	45	San Diego	4.02
12	Louisville	5.80	29	Las Vegas	4.89	46	Washington	3.64
13	Pittsburgh	5.80	30	Memphis	4.88	47	Atlanta	3.17
14	Sacramento	5.77	31	Greensboro	4.82	48	KAWASAKI	3.12
15	Milwaukee	5.77	32	Nashville	4.68	49	San Francisco	3.05
16	Denver	5.76	33	Houston	4.55	50	Chicago	2.99
17	Cleveland	5.74	34	Miami	4.53	51	New York	2.27

指標は3.12で第48位と著しく低い。これはインターネット接続率が高く、家賃水準も平均的であるにもかかわらず、通勤時間の指標が0.12と最低で極端に低いためである。アメリカの大都市であるBoston、Los Angeles、Washington、Philadelphia、Chicago、New Yorkがおおむね30分程度の通勤時間に比べ川崎市はほぼ50分とアメリカの基準から見て相当程度に長時間になっている。日本ではこれが特に長いとは感じられないのが一般的であろう。なお、日本の状況を反映する公共交通機関のデータが比較できなかったことが残念である。

「人的資源」サブインデックス

1	Minneapolis	7.84	18	Oklahoma City	5.19	35	Louisville	4.65
2	Salt Lake City	7.55	19	Pittsburgh	5.18	36	Los Angeles	4.64
3	Boston	7.17	20	Orlando	5.14	37	San Antonio	4.59
4	Kansas City	6.75	21	Rochester	5.11	38	Buffalo	4.53
5	Washington	6.55	22	Tampa	5.11	39	Charlotte	4.35
6	Denver	6.30	23	St. Louis	5.09	40	West Palm Beach	4.24
7	Sacramento	5.91	24	Grand Rapids	5.05	41	Chicago	4.14
8	Columbus	5.90	25	Milwaukee	5.04	42	Philadelphia	4.13
9	Richmond	5.76	26	Seattle	5.00	43	Dallas	4.10
10	San Diego	5.58	27	Hartford	4.96	44	Detroit	4.08
11	Norfolk	5.35	28	Portland	4.83	45	Houston	3.94
12	KAWASAKI	5.33	29	Raleigh	4.82	46	Miami	3.94
13	San Francisco	5.32	30	Cincinnati	4.80	47	New York	3.90
14	Austin	5.31	31	Atlanta	4.78	48	Greensboro	3.29
15	Phoenix	5.31	32	Cleveland	4.78	49	New Orleans	3.28
16	Indianapolis	5.31	33	Nashville	4.78	50	Las Vegas	3.18
17	Providence	5.23	34	Jacksonville	4.71	51	Memphis	3.17

指標は5.33と第12位である。18歳時点の高校卒業比率、労働力に占める15歳から64歳成人比率などがトップを占めるものの、25歳以上における学歴高卒以上、学位認定校に登録された学生数の人口千人あたり比率は最低であるため、足を引っ張っている。川崎市の特徴の一つとして他の政令指定都市に比べて若い労働者が多いといわれているが、今後少子高齢化が急速に進むことによって労働力の中での生産労働人口（15歳～64歳）の減少は避けられないことと、大学の数がアメリカに比べ少ないというハンディはこれからも変わらないため、全体としては低下するのではないかと考えられる。一方アメリカでは高校を卒業できない人が多いものの、人口増加の中で大学が大衆化されているため全体として25歳以上における学歴高卒比率はこれからも上がってくると見込まれ、日米の差は広がる可能性が大きい。このほか失業給付、失業率は、平均を上回る水準である。また医師数が少ないにもかかわらず乳児死亡率が最低でトップであるが、これは日米の医療体制、環境の違いを映じたものとなっている点に注意されたし。

「科学技術」サブインデックス

1	Boston	7.85	18	Charlotte	5.26	35	Dallas	4.55
2	Rochester	7.47	19	Norfolk	5.22	36	San Antonio	4.54
3	San Francisco	6.94	20	Detroit	5.16	37	Houston	4.53
4	Denver	6.69	21	Los Angeles	5.10	38	Milwaukee	4.51
5	Raleigh	6.32	22	Philadelphia	5.06	39	Columbus	4.45
6	Washington	6.23	23	Sacramento	5.03	40	Atlanta	4.35
7	Providence	6.01	24	Grand Rapids	5.00	41	KAWASAKI	4.15
8	Austin	5.92	25	Seattle	4.98	42	Memphis	3.94
9	Salt Lake City	5.91	26	Pittsburgh	4.95	43	West Palm Beach	3.94
10	Minneapolis	5.85	27	Kansas City	4.89	44	Nashville	3.93
11	Buffalo	5.85	28	St. Louis	4.80	45	Louisville	3.81
12	Hartford	5.64	29	Indianapolis	4.77	46	New Orleans	3.69
13	San Diego	5.58	30	Chicago	4.72	47	Tampa	3.63
14	New York	5.54	31	Cincinnati	4.69	48	Miami	3.62
15	Greensboro	5.39	32	Cleveland	4.64	49	Orlando	3.58
16	Richmond	5.31	33	Phoenix	4.58	50	Jacksonville	3.57
17	Portland	5.28	34	Oklahoma City	4.56	51	Las Vegas	3.05

指標は4.15で第41位と低い。Bostonを筆頭にアメリカの主要な都市は川崎市を上回っている。特許件数（第4位）は非常に高いものの、理科系大学院学生数（最低レベル）、労働力に占める科学者、技術者の比率（第50位）の低さが響いている。川崎市の企業の特許件数はアメリカ上位三都市のRochester、Austin、San Franciscoとは差を感じるものの、これを生み出す研究開発はかなりの高レベルであり、この点は川崎市の特徴と言えるものである。しかし、理科系大学院学生数が今後急速に伸びることは期待できない。また、川崎市は日本の他の政令指定都市に比べ学術研究機関従業者構成比が高いこと（4.73%、政令指定都市平均の約7倍近く高い）を誇っているわけであるが、労働力に占める科学者、技術者の比率は、アメリカの中で見た場合はまったく異なる判断になってしまう。

米国では、主要な大学、研究所が各都市に存在し、科学技術を生み出す源泉となっていることが多いが、川崎市の場合は、この点において誇れるものが少ないように思える。

「金融」サブインデックス

1	San Francisco	9.43	18	Louisville	4.99	35	Portland	4.51
2	KAWASAKI	7.95	19	Atlanta	4.99	36	Cleveland	4.48
3	Boston	6.74	20	St. Louis	4.96	37	New Orleans	4.44
4	Seattle	6.60	21	Buffalo	4.96	38	Indianapolis	4.40
5	New York	6.43	22	Milwaukee	4.93	39	Los Angeles	4.38
6	Hartford	5.94	23	Nashville	4.92	40	Memphis	4.37
7	Providence	5.80	24	Grand Rapids	4.85	41	Phoenix	4.36
8	Pittsburgh	5.68	25	Minneapolis	4.83	42	Orlando	4.35
9	Richmond	5.54	26	Tampa	4.71	43	Detroit	4.29
10	Raleigh	5.46	27	Columbus	4.70	44	Houston	4.29
11	Philadelphia	5.40	28	Cincinnati	4.66	45	Oklahoma City	4.22
12	Austin	5.32	29	San Diego	4.65	46	Jacksonville	4.16
13	Chicago	5.22	30	West Palm Beach	4.62	47	Las Vegas	4.12
14	Denver	5.17	31	Rochester	4.62	48	Salt Lake City	4.11
15	Miami	5.10	32	Washington	4.59	49	San Antonio	3.93
16	Charlotte	5.07	33	Kansas City	4.59	50	Sacramento	3.89
17	Greensboro	5.06	34	Dallas	4.57	51	Norfolk	3.65

指標は7.95でSan Franciscoに次いで第2位である。ベンチャーキャピタル投資は最低であるものの、一人当たり預金は日本の貯蓄性向の高さを映じてトップであるため高ランクとなった。しかし、都市競争力の観点からは重要なベンチャーキャピタル投資の伸びは、今後急速な増加が可能かどうか、また、貯蓄性向は少子高齢化が進む中で確実に低下するため、全体としてみれば低下傾向を続けるものと考えるのが自然であろう。

「オープン性」サブインデックス

1	Seattle	9.13	18	Memphis	5.08	35	New Orleans	4.50
2	San Francisco	7.49	19	Boston	5.07	36	Salt Lake City	4.46
3	Detroit	6.74	20	Cleveland	5.05	37	Pittsburgh	4.41
4	KAWASAKI	6.29	21	Raleigh	5.00	38	Nashville	4.33
5	Richmond	6.22	22	New York	4.91	39	Providence	4.22
6	Portland	5.99	23	Chicago	4.89	40	Sacramento	4.20
7	Minneapolis	5.96	24	Phoenix	4.88	41	Columbus	4.19
8	Austin	5.95	25	Dallas	4.87	42	Washington	4.17
9	Houston	5.90	26	Milwaukee	4.83	43	San Antonio	4.16
10	Rochester	5.80	27	Louisville	4.81	44	Tampa	4.03
11	Miami	5.69	28	Philadelphia	4.80	45	Orlando	3.99
12	Greensboro	5.57	29	Los Angeles	4.77	46	Denver	3.97
13	Cincinnati	5.48	30	Atlanta	4.57	47	West Palm Beach	3.94
14	Hartford	5.40	31	Buffalo	4.56	48	Norfolk	3.93
15	Indianapolis	5.40	32	Charlotte	4.55	49	Jacksonville	3.85
16	San Diego	5.28	33	St. Louis	4.53	50	Oklahoma City	3.71
17	Grand Rapids	5.23	34	Kansas City	4.52	51	Las Vegas	3.70

指標は6.29で、第4位とかなり高い。アメリカ国内では圧倒的なトップはSeattleで、続いてSan Franciscoが続く。ともにグローバルに輸出を展開している都市である。グローバルの市場を相手にするため国内だけを相手にするより競争条件は厳しく、それだけ競争的にならざるを得ないのであろう。川崎市においても今後の輸出動向はアジアを中心に増えてゆくことが期待される。

「国内競争」サブインデックス

1	Las Vegas	8.04	18	St. Louis	5.17	35	Salt Lake City	4.43
2	Boston	6.63	19	Jacksonville	5.08	36	Indianapolis	4.42
3	West Palm Beach	6.59	20	Washington	5.03	37	Rochester	4.41
4	Raleigh	6.56	21	Chicago	5.01	38	Detroit	4.29
5	Atlanta	6.43	22	Greensboro	5.00	39	Cleveland	4.27
6	Charlotte	6.31	23	Houston	4.99	40	Cincinnati	4.26
7	Denver	6.21	24	Portland	4.94	41	Miami	4.24
8	Minneapolis	6.18	25	New York	4.91	42	Oklahoma City	4.23
9	San Francisco	6.07	26	Dallas	4.69	43	San Diego	4.21
10	Orlando	6.02	27	Norfolk	4.68	44	Pittsburgh	4.18
11	Sacramento	5.98	28	Columbus	4.63	45	Nashville	4.16
12	Austin	5.87	29	Providence	4.60	46	New Orleans	4.05
13	San Antonio	5.72	30	Tampa	4.60	47	Hartford	3.99
14	Seattle	5.67	31	Grand Rapids	4.59	48	Memphis	3.94
15	Phoenix	5.67	32	Philadelphia	4.59	49	Louisville	3.87
16	Los Angeles	5.58	33	Richmond	4.55	50	Buffalo	3.43
17	Kansas City	5.36	34	Milwaukee	4.47	51	KAWASAKI	2.22

指標は2.22と最下位である。特殊なLas Vegasを除くとBostonなど競争力指標の高い都市が上位を占め、活発な起業が進んでいることがわかる。川崎市においては平成13年度までの5年間で平均するデータしか取りえなかったが、それでも事業所数は純減となっている。その原因の特定は重要な課題であるが、可能性の一つとして少子高齢化の中で世代間の事業の継承ができなくなり、廃業するケースなどの構造的な問題に由来するとすれば、今後同じような動向が続くのか、あるいは創業意欲の高まりや景気の回復で反転するのだろうか、いずれにしても懸念材料の多い指標である。

「環境政策」サブインデックス

1	Seattle	6.71	18	Louisville	5.65	35	Memphis	4.68
2	Portland	6.49	19	Detroit	5.47	36	Boston	4.66
3	Salt Lake City	6.41	20	Cincinnati	5.44	37	San Diego	4.62
4	Minneapolis	6.20	21	Norfolk	5.39	38	San Antonio	4.57
5	Denver	6.06	22	Washington	5.36	39	Houston	4.57
6	Kansas City	5.99	23	Phoenix	5.30	40	Los Angeles	4.44
7	Indianapolis	5.94	24	Cleveland	5.29	41	Grand Rapids	4.38
8	Las Vegas	5.88	25	Pittsburgh	5.22	42	Hartford	4.24
9	Oklahoma City	5.82	26	Nashville	5.02	43	Providence	4.13
10	West Palm Beach	5.79	27	Raleigh	4.96	44	Buffalo	4.10
11	St. Louis	5.77	28	Charlotte	4.93	45	Sacramento	4.07
12	Milwaukee	5.76	29	Philadelphia	4.92	46	Atlanta	3.77
13	Tampa	5.73	30	New Orleans	4.89	47	Rochester	3.67
14	Jacksonville	5.73	31	San Francisco	4.86	48	Dallas	3.60
15	Chicago	5.69	32	Greensboro	4.84	49	New York	3.45
16	Orlando	5.67	33	Richmond	4.78	50	Austin	2.15
17	Miami	5.67	34	Columbus	4.74	51	KAWASAKI	1.53

指標は1.53と最下位である。汚染日数が平均を下回ったが、電力料金の異常な高さが大きく影響している。特に電力料金はトップのSeattleに比べ4倍近く高くなっている。天然資源の乏しい日本の中では高コスト体質に慣らされてしまっていることが問題である。

相関分析

次にこの9つのサブインデックスと競争力指標との関係を探るために相関表で分析を行う。この結果、競争力指標と大きな相関があるサブインデックスは、人的資源（0.668）、科学技術（0.635）、安全性（0.562）、オープン性（0.474）、金融（0.436）が5大指標となった。言い換えれば、人、技術、安全、グローバル化、資金となる。特に、人、技術が大きな鍵となっている。

相関行列	行財政政策	安全性	都市インフラ	人的資源	科学技術	金融	オープン性	国内競争	環境政策	競争力指標
行財政政策	1.000									
安全性	-0.182	1.000								
都市インフラ	-0.110	0.005	1.000							
人的資源	0.026	0.444	0.280	1.000						
科学技術	-0.143	0.511	-0.023	0.506	1.000					
金融	0.013	0.436	-0.402	0.097	0.384	1.000				
オープン性	0.096	0.214	-0.074	-0.009	0.280	0.543	1.000			
国内競争	0.304	-0.032	-0.166	0.106	0.141	-0.046	-0.120	1.000		
環境政策	-0.018	-0.204	0.441	0.155	-0.180	-0.328	-0.080	0.238	1.000	
競争力指標	0.253	0.562	0.244	0.668	0.635	0.436	0.474	0.366	0.262	1.000

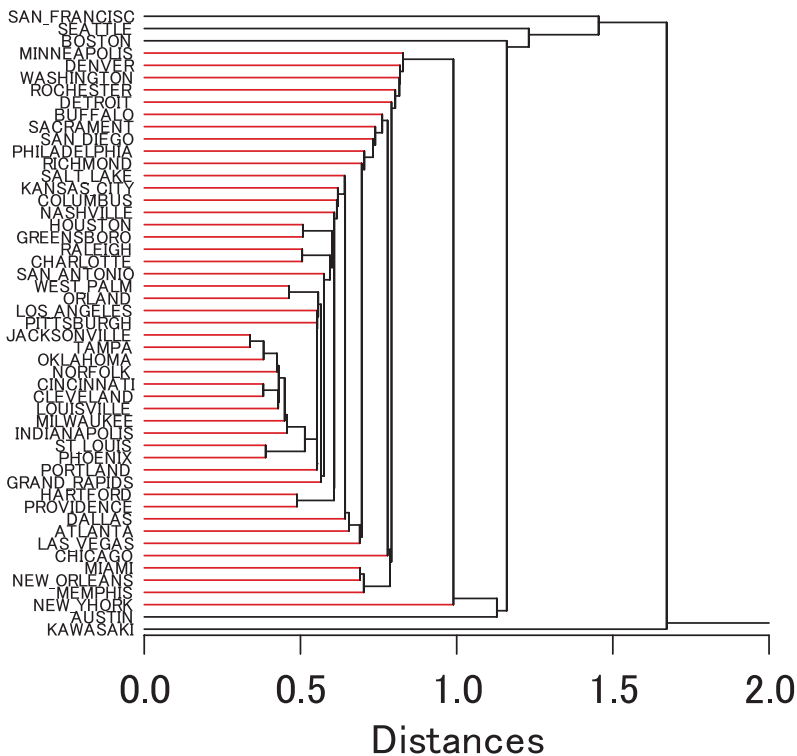
クラスター分析

次に、川崎がどの程度アメリカの諸都市とその特徴が似ているかという点を探るため、クラスター分析（ユークリッド距離、単一リンク、最短距離法を採用）を行った。

全体を通して注目すべき点の一つとして、川崎市のランクが両極端に位置する指標が多いことである。アメリカの諸都市を抜いて第1位になった指標は例えば高卒比率がある一方で、最下位に位置する指標例えば電力料金も多くに上る。これが意味するところはやはり両国の社会制度、経済システムの違いに基づくもので、日本の他の政令指定都市をあてはめて見てもそれほど大きな違いがないようにも思える。

これを映じてか、クラスター分析を行うと川崎市がアメリカの諸都市の中では最も特異な都市であるという結果になっている。同様にアメリカトップ3都市も国内の中では同様に非常に特異であることにも興味を引かれる。Seattleは、オープン性(9.13)、環境政策(6.71)が、Bostonは科学技術(7.85)、San Franciscoは金融(9.43)において他を圧する強さを持っており、相関分析で見えた平均的な要素の強さ（人、技術、安全）のみならず、特徴的な独自の強さを持っていることでトップの地位を維持していることに気付かされる。

Cluster Tree



因子分析

次に、競争力に関してより根本的な視点から分析をするために、因子分析を行った（バリマックス法による回転後の分析）。

変数名	因子No. 1	変数名	因子No. 2	変数名	因子No. 3
行財政政策	-0.0972	都市インフラ	-0.65902	都市インフラ	-0.27815
環境政策	0.014971	環境政策	-0.5529	安全性	-0.1308
国内競争	0.179848	人的資源	-0.24191	オープン性	-0.07
都市インフラ	0.193294	国内競争	-0.16116	人的資源	-0.01906
オープン性	0.235946	行財政政策	0.038237	金融	0.002586
金融	0.386912	科学技術	0.212663	科学技術	0.017785
安全性	0.665838	安全性	0.241929	環境政策	0.102609
人的資源	0.714133	オープン性	0.38211	行財政政策	0.296798
科学技術	0.732136	金融	0.743944	国内競争	1.077668

固有値表：回転後 (バリマックス法)			
因子No.	二乗和	寄与率	累積寄与率
因子No. 1	1.7741	19.71%	19.71%
因子No. 2	1.629185	18.10%	37.81%
因子No. 3	1.36005	15.11%	52.93%

試行錯誤の結果、因子を3つに分けるのが自然であることがわかり、因子の特定は以下のよう
に解釈した。

第1因子は、科学技術、人的資源、安全性などが大きく影響する因子であり、これらは都市の
持つ競争力の源泉の要素である。

第2因子は、金融、オープン性といった、都市の競争力を具体的に促進する要素である。

第3因子は、国内競争、行財政政策、環境政策と関連の見られる都市の競争力の担い手の行動
を現す要素である。この場合担い手とは、企業であり、それに対して税や規制を行うと同時に、
サービスを提供する行政組織である。

このように三つの因子に分けて考えると、競争力のある都市とはまず第一に競争力の元になる
「競争力の源泉」を持っていること。すなわち、人材、技術が安全な環境の中で場としての都市
に存在すること。次に、それを具体的な形で実現するための、資金力（ポテンシャルとしての預
金、ベンチャー資金）が存在し、かつ競争圧力の影響をグローバルな競争市場から常に受けてい
ること。第三に、良い環境の中で行政の支援もあって、活発な起業がなされていることである。

	因子得点表： 回転後 (パリティ法)	競争力 の源泉	競争力 の促進	競争の 担い手			競争力 の源泉	競争力 の促進	競争の 担い手
		因子No. 1	因子No. 2	因子No. 3			因子No. 1	因子No. 2	因子No. 3
1	Seattle	0.871	0.207	0.898	27	Cleveland	-0.083	-0.438	-0.874
2	Boston	2.598	0.739	1.382	28	Norfolk	0.019	-0.949	-0.783
3	San Francisco	1.580	2.984	1.306	29	KAWASAKI	0.093	3.113	-2.487
4	Minneapolis	1.946	-1.403	1.182	30	Louisville	-0.437	-0.194	-1.333
5	Denver	1.464	-0.526	0.558	31	Milwaukee	-0.168	-0.472	-0.511
6	Portland	0.318	-0.726	-0.599	32	West Palm Beach	-0.647	-0.227	1.720
7	Salt Lake City	1.104	-1.221	-1.316	33	Chicago	-0.406	0.956	-0.340
8	Raleigh	0.478	0.526	1.398	34	Oklahoma City	-0.271	-0.810	-1.181
9	Kansas City	0.567	-1.198	0.323	35	Tampa	-0.401	-0.683	-0.385
10	Richmond	0.381	-0.036	-0.230	36	Detroit	-0.435	-0.334	-0.562
11	Grand Rapids	0.445	-0.241	-0.458	37	San Antonio	-0.688	-0.653	0.868
12	Indianapolis	-0.108	-0.435	-1.004	38	Las Vegas	-1.062	-0.848	3.654
13	Austin	0.518	0.795	1.459	39	Houston	-0.932	0.065	0.178
14	Cincinnati	-0.036	-0.478	-0.951	40	Orlando	-0.515	-0.625	1.322
15	Providence	1.060	0.195	-0.471	41	Los Angeles	-0.387	-0.041	0.812
16	Rochester	1.069	0.078	-0.760	42	Nashville	-0.928	0.218	-0.990
17	Hartford	0.640	0.577	-1.038	43	Atlanta	-0.568	0.512	2.097
18	St. Louis	-0.204	-0.254	-0.006	44	Jacksonville	-0.781	-0.931	0.232
19	Pittsburgh	0.581	0.114	-1.035	45	Buffalo	0.378	-0.101	-1.581
20	Sacramento	0.554	-1.116	1.321	46	Philadelphia	-0.387	0.691	-0.336
21	Charlotte	-0.345	0.265	1.379	47	Dallas	-1.109	0.526	-0.173
22	Greensboro	-0.568	0.671	-0.277	48	New York	-0.252	2.123	0.239
23	San Diego	0.375	0.331	-1.136	49	Miami	-1.357	0.153	-0.291
24	Washington	0.613	-0.057	-0.345	50	Memphis	-2.154	0.191	-0.871
25	Phoenix	-0.288	-0.591	0.864	51	New Orleans	-2.076	0.230	-0.601
26	Columbus	-0.063	-0.675	-0.268					

これを因子得点表で具体的に各都市への因子の影響を見ると以下のようなものである。まず最初に気がつくことは、さすがに上位三都市は三つの因子が共に強く働いていることがわかる。中でもBostonは競争力の源泉から見てトップであり、Minneapolis、San Franciscoと続く。続いて競争力の促進の要素で見ると、川崎市がトップで、次いでSan Francisco、New Yorkと続く。川崎市がトップの原因は既出ながら貯蓄性向の高い日本の状況を映じたものである。最後に競争力の担い手という観点から見ると、Las Vegas、Atlantaなどである。川崎市は残念ながらこの因子は最下位となっている。

分析結果の含意

本来この指標は、強い点のみならず、むしろ弱い点を強く認識し改善することを目的とし、毎年その改善の結果が競争力のランキングに反映するという考え方をとっているもので、強い点はさらに強くし、弱い点は着実に改善すべきものであり、現在の状況のみに縛られるべきものではない。その上で、今回の分析は川崎市にとってどのような含意が含まれているであろうか？

まず最初に、川崎市がアメリカの諸都市に比べ、競争的に優位な条件が少なからずあるという点である。特に、税率、安全性、特許数、人的資源の中の比較的若い労働力および高い高校卒業率、一人当たり預金額、さらに一人当たり輸出額などである。これらの諸条件は川崎市を、現在

アメリカの平均よりやや下に位置させる上で大いに貢献している競争の優位条件である。しかし、とりわけ少子高齢化の影響を強く受ける指標、地方財政の帰趨に依存する税率や、安全神話が崩壊しつつあることから強さの維持に懸念を抱くものである。

期待すべきは川崎市の特徴的な強さである企業の研究開発力の更なる強化である。この分析では明らかにされていないが、イギリスのケンブリッジのようなネットワーク型の研究開発の醸成も有力な方法の一つであろう。また、積極的な海外展開による輸出増も企業をグローバルな競争に立ち向かわせ、経営の競争力強化を図る上で重要であろう。具体的には、鉄鋼などを中心にアジア向けの輸出を今後とも増加することや、海外企業との水平分業、アジア企業の起業支援などの連携の促進が望まれる。

一方、今回弱いとされた点の改善、すなわちベンチャー投資、および起業の促進、世代間の事業の継承、科学技術系の大学院の整備、科学技術者の育成、招致による労働力の高度化、エネルギーコストの低下、通勤時間の短縮によるストレスの減少、日本のパフォーマンス向上に伴う地方債ボンドレートの上昇などが重要であろう。

また、因子分析で明らかになったように、競争力の源泉、促進、担い手という観点から見た場合は、

第一 人材、技術のレベルアップ、安全な環境の維持による競争力の源泉力の向上、

第二 企業の活性、企業化のための資金的な裏づけ、およびグローバル化への対策強化による競争力の促進面でのいっそうのサポート、

第三に 最も問題が多い競争力の担い手の行動については、川崎市の財政力の強化、企業の誘致策など市としての努力を行い、結果として企業の立地、創業を増加させることとなろうか。

いずれにしても、懸念されることはこのまま強い点が維持できず、弱い点の大きな改善がなされなければ、アメリカ諸都市と比べた競争力ランクは今後低下してゆくのではないかという点である。競争力の三要素を念頭に置きつつ、川崎市の特徴を踏まえた具体策を策定実行することにより、将来展望を少しでも明るいものにしていきたいと考える。

今後の課題

今後の残された課題の一つとしては、私は競争力を大きく、顕在化している競争力と、潜在的な競争力の二つに分ける分析が必要であると考えている。

現在顕在化している競争力については、競争力が高いことが結果として高いマーケットシェア、もしくは、高い利益率に現れていると考えられるため、これを顕在化した競争力と呼ぶ。もう一方はポテンシャルとして存在する潜在的な競争力である。この二つを峻別する意味は、たとえ、大きなポテンシャルを持っているとしても、それが、開花されなければ、顕在化される競争力とはなり得ないということを明らかにするためである。川崎の例をとってみれば、川崎は大きな競争の資源を保有していることは、いうまでもない。しかし、それが開花されなければ川崎の持つ潜在競争力は、顕在化されないのである。サフォークモデルでは混在していたこの二つの要素を分けて、顕在化している部分と潜在的な条件の部分进行分析し、さらには開花させるべき手法を考察したい。

次に、一般的な経済パフォーマンスや特に知的産業にかかわるパフォーマンスと競争力との関

係を探ることも必要だと考えている。

また、都市間競争には、実は都市は「競争」していると同時に、「協調」もしているという独自の側面を持っている。例えば東京、川崎、横浜は互いに競争関係あると同時に、東京湾の湾岸に位置するため、広域連合の要素もあるわけである。これらの要素を入れた形で、有機的に近隣都市との関係をとらえる事も必要だと考えられる。

最後に、今回の川崎のアメリカ都市内でのランクを見ると、川崎市の特徴という面に加え、日本の特徴的な面ではないかと思われる指標も散見された。そのため、川崎市以外の政令指定都市の分析も重要であろう。

「行財政政策」サブインデックス関連指標

税金/市民 総生産(平 成12年度)	税金:市税制 課資料によ る市税調定 額		
	市民総生産: 市民経済計 算による		

Taxes as a % of current GSP
(Gross State Product),

Rank	fiscal year 1999-00	正規化指 数	Rank	正規化指 数		
1	KAWASAKI	6.2	27	Cincinnati	9.4	4.76
2	Nashville	7.3	28	Salt Lake City	9.4	4.76
3	Austin	7.6	29	Cleveland	9.5	4.67
4	Dallas	7.6	30	Columbus	9.5	4.67
5	Houston	7.6	31	Jacksonville	9.5	4.67
6	San Antonio	7.6	32	Miami	9.5	4.67
7	Memphis	7.6	33	Orlando	9.5	4.67
8	Greensboro	8.3	34	Tampa	9.5	4.67
9	Raleigh	8.3	35	West Palm Beach	9.5	4.67
10	Charlotte	8.4	36	Philadelphia	9.5	4.67
11	Las Vegas	8.4	37	Pittsburgh	9.6	4.58
12	Atlanta	8.4	38	Oklahoma City	9.6	4.58
	New					
13	Orleans	8.4	39	Los Angeles	9.8	4.39
14	St. Louis	8.5	40	Sacramento	9.8	4.39
15	Denver	8.6	41	San Diego	9.8	4.39
16	Portland	8.6	42	San Francisco	9.8	4.39
17	Norfolk	8.7	43	Providence	10.2	4.01
18	Richmond	8.7	44	Detroit	10.2	4.01
19	Kansas City	8.8	45	Grand Rapids	10.2	4.01
20	Boston	8.9	46	Hartford	10.3	3.91
21	Seattle	9.0	47	Minneapolis	10.5	3.73
22	Louisville	9.0	48	New York	10.9	3.35
23	Indianapolis	9.0	49	Milwaukee	11.1	3.16
24	Chicago	9.1	50	Buffalo	11.5	2.78
25	Washington	9.2	51	Rochester	11.5	2.78
26	Phoenix	9.3				

Source: US Census Bureau and Bureau of Economic Analysis. Estimated as a weighted average of the component state data.

「行財政政策」サブインデックス関連指標

市債ボンドレート(平成17年度)

Bond rating: composite of Standard & Poor's and Moody's,
2002

Rank		正規化指数	Rank		正規化指数		
1	Seattle	25	6.21	27	Kansas City	22.5	5.06
2	Charlotte	25	6.21	28	San Diego	22.5	5.06
3	Columbus	25	6.21	29	Boston	22	4.83
4	Dallas	25	6.21	30	Houston	22	4.83
5	Grand Rapids	25	6.21	31	Las Vegas	22	4.83
6	Greensboro	25	6.21	32	Louisville	22	4.83
7	Indianapolis	25	6.21	33	Norfolk	22	4.83
8	Raleigh	25	6.21	34	Orlando	22	4.83
9	San Francisco	25	6.21	35	Richmond	22	4.83
	West Palm						
10	Beach	25	6.21	36	Tampa	22	4.83
11	Minneapolis	24.5	5.98	37	Jacksonville	21.5	4.60
12	Portland	24.5	5.98	38	Rochester	21.5	4.60
13	Cincinnati	24	5.75	39	KAWASAKI	21	4.37
14	Denver	24	5.75	40	Chicago	21	4.37
15	Phoenix	24	5.75	41	Cleveland	21	4.37
16	Austin	23.5	5.52	42	Hartford	21	4.37
17	Salt Lake City	23.5	5.52	43	New York	20	3.91
18	San Antonio	23.5	5.52	44	Providence	20	3.91
19	St. Louis	23.5	5.52	45	Washington	19.6	3.72
20	Los Angeles	23	5.29	46	Pittsburgh	19	3.44
21	Memphis	23	5.29	47	Detroit	18.5	3.21
22	Milwaukee	23	5.29	48	Miami	18	2.98
					New		
23	Nashville	23	5.29	49	Orleans	18	2.98
24	Oklahoma City	23	5.29	50	Philadelphia	17.5	2.75
25	Sacramento	23	5.29	51	Buffalo	17	2.52
26	Atlanta	22.5	5.06				

Source: Calculated based on data from Statistical Abstract of the United States.

Bond ratings were scaled from 1 to 25.

Standard & Poor's と Moody's の公表されたデータはないが、日本の国債レートを勘案してシングルAプラスと推測して計測を行った。

「安全性」 サブインデックス関連指標

10万人の住民あたりの凶悪(強姦・暴行)犯罪発生率(平成13年度)	犯罪統計(神奈川県警)
-----------------------------------	-------------

Rank	Violent crimes per 100,000 inhabitants, 2001	正規化指数	Rank	正規化指数		
1	KAWASAKI	31.0	7.05	27 Cleveland	391.8	4.94
2	Chicago	129.0	6.47	28 Richmond	392.3	4.93
3	Boston	177.4	6.19	29 Orlando	400.7	4.88
4	Minneapolis	180.2	6.17	30 Raleigh	407.0	4.85
5	Salt Lake City	182.0	6.16	31 Phoenix	422.1	4.76
6	Providence	189.8	6.12	32 Indianapolis	425.0	4.74
7	Grand Rapids	192.3	6.10	33 Milwaukee	430.0	4.71
				Kansas		
8	Portland	198.8	6.07	34 City	433.4	4.69
9	Rochester	207.4	6.02	35 New York	441.6	4.64
10	Pittsburgh	213.2	5.98	36 Tampa	444.0	4.63
11	Austin	218.8	5.95	37 St. Louis	454.5	4.57
12	San Diego	219.3	5.95	38 Las Vegas	460.1	4.54
13	Seattle	227.4	5.90	39 Atlanta	477.2	4.44
14	Denver	251.0	5.76	40 Jacksonville	478.5	4.43
15	Hartford	255.1	5.74	41 Philadelphia	480.8	4.42
16	Sacramento	285.3	5.56	42 Detroit	491.8	4.35
17	Oklahoma City	305.4	5.44	43 Columbus	522.6	4.17
18	Cincinnati	316.0	5.38	44 Houston	571.2	3.89
19	Buffalo	318.2	5.37	45 Dallas	583.1	3.82
20	Louisville	319.7	5.36	46 Charlotte	585.1	3.81
				Los		
21	San Antonio	337.5	5.25	47 Angeles	589.3	3.78
22	Norfolk	349.9	5.18	48 Nashville	593.9	3.75
23	San Francisco	359.9	5.12	49 Miami	658.4	3.38
				New		
24	Washington	372.8	5.05	50 Orleans	682.0	3.24
25	Greensboro	373.4	5.04	51 Memphis	1024.3	1.24
26	West Palm Beach	375.1	5.03			

Source : Calculated based on data from US Department of Housing and Urban Development and Census of Population.

「安全性」 サブインデックス関連指標

10万人の住民あたりの窃盗発生率 (平成13年度)		犯罪統計 (神奈川県警)					
Thefts per 100,000 inhabitants, 2001		正規化指数		Rank			正規化指数
1	Boston	1621.1	6.69	27	Minneapolis	2834.1	5.02
2	New York	1669.4	6.62	28	Milwaukee	2968.2	4.83
3	KAWASAKI	1713.4	6.56	29	Richmond New	3045.1	4.73
4	Pittsburgh	1765.3	6.49	30	Orleans	3110.3	4.64
5	Los Angeles	1771.7	6.48	31	Raleigh	3142.1	4.59
6	San Diego	1790.6	6.45	32	Seattle	3175.8	4.55
7	Chicago	2009.5	6.15	33	Tampa	3214.7	4.49
8	Las Vegas	2095.8	6.03	34	Dallas	3253.1	4.44
9	Indianapolis	2109.2	6.01	35	Austin	3278.8	4.41
10	Philadelphia	2138.5	5.97	36	Greensboro	3318.7	4.35
11	Cleveland	2160.9	5.94	37	Jacksonville	3343.9	4.32
12	Buffalo	2185.4	5.91	38	St. Louis	3346.6	4.31
13	Detroit	2214.8	5.87	39	Charlotte	3369.9	4.28
14	Providence	2252.3	5.82	40	Orlando	3419.5	4.21
15	Hartford	2270.6	5.79	41	Nashville	3477.2	4.13
16	San Francisco	2313.7	5.73	42	Kansas City	3531.5	4.06
17	Washington	2404.4	5.61	43	Phoenix West Palm	3547.2	4.04
18	Rochester Grand	2447.1	5.55	44	Beach	3587.1	3.98
19	Rapids	2459.8	5.53	45	Memphis Salt Lake	3608.6	3.95
20	Sacramento	2520.6	5.45	46	City	3683.0	3.85
21	Louisville	2630.5	5.30	47	Portland	3694.6	3.83
22	Norfolk	2631.1	5.30	48	Columbus Oklahoma	3788.2	3.70
23	Houston	2774.8	5.10	49	City	3883.0	3.57
24	Denver	2826.8	5.03	50	Miami	4257.6	3.06
25	Atlanta	2827.2	5.03	51	San Antonio	4857.1	2.23
26	Cincinnati	2829.2	5.02				

Source : Calculated based on data from US Department of Housing and Urban Development and Census of Population.

「安全性」サブインデックス関連指標

10万人の住民 あたりの殺人発 生率	犯罪統 計(神奈 川県警)
--------------------------	---------------------

Rank	Murder index, per 104, 000 inhabitants, 2001	正規化指数	Rank	正規化指数
1	KAWASAKI	1.1	27	Oklahoma City 5.9
2	Grand Rapids	2.1	28	Nashville 6.0
3	Boston	2.4	29	Columbus 6.2
4	Portland	2.4	30	Buffalo 6.3
5	Minneapolis	2.6	31	Norfolk 6.8
6	Seattle	3.0	32	San Antonio 6.9
7	Austin	3.2	33	Charlotte 7.5
8	San Diego	3.2	34	Kansas City 7.5
9	Providence	3.7	35	Atlanta 7.9
10	Hartford	3.9	36	Indianapolis 7.9
11	Orlando	4.2	37	Philadelphia 8.1
12	Salt Lake City	4.3	38	Houston 8.3
13	Pittsburgh	4.4	39	Jacksonville 8.4
14	West Palm Beach	4.4	40	Miami 8.4
15	Denver	4.5	41	Washington 8.4
16	Rochester	4.7	42	Dallas 8.7
17	Cleveland	4.8	43	Milwaukee 8.9
18	San Francisco	4.8	44	Phoenix 8.9
19	Tampa	5.0	45	St. Louis 9.1
20	Raleigh	5.1	46	Las Vegas 10.5
21	New York	5.2	47	Detroit 10.7
22	Sacramento	5.2	48	Richmond 10.8
23	Chicago	5.3	49	Los Angeles 11.1
24	Greensboro	5.4	50	Memphis 15.5
25	Cincinnati	5.7	51	New Orleans 20.0
26	Louisville	5.9		

Source : Calculated based on data from US Department of Housing and Urban Development and Census of Population.

「都市インフラ」サブインデックス関連指標

インターネット人口

普及率

総務省「平成17年版情報通信白書」

(神奈川県データを代用)

Rank	% of households with Internet access, 2001	正規化指数	Rank	正規化指数			
1	Seattle	60.4	7.12	27	Grand Rapids	51.2	5.04
2	KAWASAKI	59.7	6.96	28	Cleveland	50.9	4.97
3	Portland	58.54	6.70	29	Columbus	50.9	4.97
4	Denver	58.5	6.69	30	Kansas City	50.3	4.83
5	Boston	55.59	6.03	31	Buffalo	50.2	4.81
6	Minneapolis	55.42	5.99	32	Milwaukee	50.2	4.81
7	Los Angeles	55.3	5.96	33	Rochester	50.2	4.81
8	Sacramento	55.3	5.96	34	Cincinnati	49.55	4.67
9	San Diego	55.3	5.96	35	St. Louis	49.21	4.59
10	San Francisco	55.3	5.96	36	Pittsburgh	48.7	4.47
11	Hartford	55	5.90	37	Austin	47.7	4.25
12	Richmond	54.9	5.87	38	Dallas	47.7	4.25
13	Norfolk	54.78	5.85	39	Houston	47.7	4.25
14	Salt Lake City	54.1	5.69	40	San Antonio	47.7	4.25
15	Providence	53.46	5.55	41	Indianapolis	47.3	4.16
16	New York	52.8	5.40	42	Chicago	46.98	4.08
17	Jacksonville	52.8	5.40	43	Atlanta	46.7	4.02
18	Miami	52.8	5.40	44	Louisville	44.88	3.61
19	Orlando	52.8	5.40	45	Nashville	44.8	3.59
20	Tampa	52.8	5.40	46	Charlotte	44.55	3.54
21	West Palm Beach	52.8	5.40	47	Greensboro	44.5	3.52
22	Washington	52.44	5.32	48	Raleigh	44.5	3.52
23	Las Vegas	52.44	5.32	49	Memphis	44.25	3.47
					Oklahoma		
24	Phoenix	51.9	5.20	50	City	43.8	3.37
25	Philadelphia	51.57	5.12	51	New Orleans	40.2	2.55
26	Detroit	51.2	5.04				

Source: National Telecommunications and Information Administration. Estimated as a weighted average of the component state data.

「都市インフラ」サブインデックス関連指標

家賃の平均値(平成15年度)		住宅 土地 統計 調査					
Rank	Median household gross rent, 2000	ドル	正規化 指数	Rank		正規化 指数	
1	Pittsburgh	480.0	6.71	27	Charlotte	628.0	5.08
					Salt Lake		
2	Oklahoma City	485.0	6.66	28	City	632.0	5.04
3	Louisville	495.0	6.55	29	Minneapolis	645.0	4.90
4	Buffalo	514.0	6.34	30	Hartford	646.0	4.89
5	Cincinnati	519.8	6.27	31	Philadelphia	653.8	4.80
6	New Orleans	522.0	6.25	32	Dallas	656.3	4.77
7	St. Louis	533.0	6.13	33	Chicago	660.6	4.73
8	Providence	540.0	6.05	34	Portland	663.9	4.69
9	Greensboro	548.0	5.96	35	Phoenix	667.0	4.66
10	Cleveland	557.6	5.86	36	Sacramento	673.1	4.59
11	Grand Rapids	559.0	5.84	37	Raleigh	678.0	4.54
12	San Antonio	568.0	5.74	38	Orlando	691.0	4.39
13	Memphis	569.0	5.73	39	Miami	695.1	4.35
14	Indianapolis	584.0	5.57	40	Las Vegas	701.0	4.28
15	Kansas City	586.0	5.55	41	Denver	708.5	4.20
16	Milwaukee	590.2	5.50	42	Austin	721.0	4.06
17	Columbus	594.0	5.46	43	Seattle	723.6	4.03
18	Detroit	594.9	5.45	44	Boston	732.8	3.93
					West Palm		
19	Rochester	602.0	5.37	45	Beach	738.0	3.88
					Los		
20	Houston	606.0	5.33	46	Angeles	744.5	3.81
21	KAWASAKI	609.8	5.28	47	Atlanta	745.0	3.80
22	Nashville	613.0	5.25	48	Washington	749.7	3.75
23	Tampa	618.0	5.19	49	San Diego	764.0	3.59
24	Jacksonville	620.0	5.17	50	New York	768.9	3.54
					San		
25	Norfolk	620.0	5.17	51	Francisco	986.3	1.15
26	Richmond	621.0	5.16				

Source : Calculated based on data from US Department of Housing and Urban Development.

「人的資源」サブインデックス関連指標

国民健康保険料の未納入率(平成14年度)		市保健年金課資料					
Rank	Percent of population without health insurance, 2002	正規化指数	Rank	Rank	正規化指数	Rank	正規化指数
1	Minneapolis	7.96	6.73	27	New York	14.74	5.10
2	Milwaukee	9.80	6.29	28	Buffalo	15.80	4.85
3	Providence	9.82	6.28	29	Rochester	15.80	4.85
4	Boston	9.90	6.26	30	Atlanta	16.10	4.78
5	Hartford	10.50	6.12	31	Denver	16.10	4.78
6	Nashville	10.80	6.05	32	Charlotte	16.37	4.71
7	Kansas City	11.12	5.97	33	Greensboro	16.80	4.61
8	Pittsburgh	11.30	5.93	34	Phoenix	16.80	4.61
9	Memphis	11.65	5.84	35	Raleigh	16.80	4.61
10	Detroit	11.70	5.83	36	Jacksonville	17.30	4.49
11	Grand Rapids	11.70	5.83	37	Miami	17.30	4.49
					Oklahoma		
12	Cleveland	11.90	5.78	38	City	17.30	4.49
13	Columbus	11.90	5.78	39	Orlando	17.30	4.49
14	Philadelphia	11.96	5.77	40	Tampa	17.30	4.49
15	KAWASAKI	11.98	5.76		West Palm		
				41	Beach	17.30	4.49
					Los		
16	St. Louis	12.18	5.72	42	Angeles	18.20	4.27
17	Cincinnati	12.25	5.70	43	Sacramento	18.20	4.27
18	Washington	12.46	5.65	44	San Diego	18.20	4.27
					San		
19	Indianapolis	13.10	5.50	45	Francisco	18.20	4.27
					New		
20	Salt Lake City	13.40	5.42	46	Orleans	18.40	4.23
21	Louisville	13.49	5.40	47	Las Vegas	19.42	3.98
22	Richmond	13.50	5.40	48	Austin	25.80	2.45
23	Norfolk	13.54	5.39	49	Dallas	25.80	2.45
24	Chicago	13.96	5.29	50	Houston	25.80	2.45
					San		
25	Seattle	14.20	5.23	51	Antonio	25.80	2.45
26	Portland	14.54	5.15				

Source: US Census Bureau. Estimated as a weighted average of the component state data.

「人的資源」サブインデックス関連指標

18歳時点の高校 卒業比率(平成1 3年度)	国勢調査
------------------------------	------

Rank	High school finishers as % of 18 year olds, school year 1999-00		正規化指数	Rank			正規化指数
1	KAWASAKI	98.81	9.05	27	Oklahoma City	62.79	4.81
2	Hartford	81.49	7.01	28	Detroit	62.34	4.75
3	Cleveland	78.45	6.65	29	Chicago	62.15	4.73
4	Salt Lake City	77.59	6.55	30	Dallas	61.62	4.67
5	Minneapolis	76.08	6.37	31	Philadelphia	61.40	4.64
6	Pittsburgh	75.05	6.25	32	Charlotte	61.34	4.64
7	Kansas City	72.95	6.01	33	Denver	61.19	4.62
8	Sacramento	71.41	5.82	34	Las Vegas	61.04	4.60
9	Washington	70.64	5.73		Los Angeles	60.80	4.57
10	Milwaukee	69.92	5.65	35	Angeles	60.80	4.57
11	Rochester	69.66	5.62	36	New York	60.51	4.54
12	Boston	68.94	5.53	37	Orlando	60.30	4.51
13	Richmond	68.82	5.52	38	Cincinnati	59.68	4.44
14	Indianapolis	68.82	5.52	39	Atlanta	59.43	4.41
15	Portland	68.66	5.50		West Palm Beach	57.30	4.16
16	Norfolk	67.74	5.39	40	Beach	57.30	4.16
17	St. Louis	66.37	5.23		New Orleans	57.27	4.16
18	Houston	66.09	5.20	41	Orleans	57.27	4.16
19	Buffalo	65.55	5.13	42	Tampa	56.95	4.12
20	Columbus	64.75	5.04	43	Memphis	56.89	4.11
21	Seattle	64.10	4.96	44	Providence	56.65	4.08
22	San Antonio	64.10	4.96	45	Phoenix	56.27	4.04
23	Louisville	63.68	4.91	46	Austin	56.24	4.04
24	Grand Rapids	63.43	4.88	47	Jacksonville	55.11	3.90
25	San Francisco	63.14	4.85	48	Greensboro	53.94	3.76
26	San Diego	63.07	4.84	49	Miami	53.64	3.73
				50	Raleigh	52.55	3.60
				51	Nashville	48.84	3.16

Source : Calculated based on data from National Center for Education Statistics and US Census Bureau.

「人的資源」サブインデックス関連指標

25歳以上における学歴高卒以上人口比率 (平成12年度)		国勢調査					
Percent of population aged 25 and over that graduated from high school, 2002							
Rank		%	正規化指数				
Rank			正規化指数				
1	Minneapolis	90.58	7.1	27	Detroit	82.96	5.1
2	Seattle	89.47	6.8	28	Buffalo	82.96	5.1
3	Salt Lake City	87.48	6.3	29	Orlando	82.77	5.1
4	Kansas City	86.72	6.1	30	Richmond	82.62	5.1
5	Denver	86.65	6.1	31	San Diego	82.58	5.0
6	Portland	86.22	6.0	32	Cincinnati	82.57	5.0
7	Columbus	85.81	5.9	33	Phoenix	81.93	4.9
8	Boston	85.66	5.8	34	Philadelphia	81.91	4.9
9	Raleigh	85.39	5.8	35	Tampa	81.46	4.8
10	Pittsburgh	85.06	5.7	36	Nashville	81.40	4.7
11	Washington	84.93	5.7	37	Louisville	81.29	4.7
12	Austin	84.79	5.6	38	Chicago	81.11	4.7
13	Norfolk	84.66	5.6	39	Charlotte	80.46	4.5
14	Grand Rapids	84.56	5.6	40	Dallas	79.92	4.4
15	Sacramento	84.56	5.6	41	Memphis	79.81	4.3
16	Rochester	84.35	5.5	42	New York	79.40	4.2
17	Milwaukee	84.33	5.5	43	Las Vegas	79.24	4.2
18	Atlanta	83.99	5.4	44	Greensboro	78.56	4.0
19	Indianapolis	83.97	5.4	45	New Orleans	77.66	3.8
20	San Francisco	83.93	5.4	46	San Antonio	77.30	3.7
21	Oklahoma City	83.64	5.3	47	Houston	76.36	3.4
22	Jacksonville	83.63	5.3	48	Providence	76.04	3.4
23	West Palm Beach	83.57	5.3	49	Miami	73.93	2.8
24	Hartford	83.56	5.3	50	Los Angeles	72.99	2.6
25	Cleveland	83.53	5.3	51	KAWASAKI	70.70	2.0
26	St. Louis	83.39	5.3				

Source: Calculated based on data from Census of Population.

「人的資源」サブインデックス関連指標

労働組合組織率	従業者 数:事業 所統計 組合員: 労組基 礎調査
---------	--

Rank	% of labor force represented by unions, 2001	正規化 指数	Rank	正規化 指数			
1	Greensboro	4.00	6.54	27	Boston	15.03	4.79
2	Raleigh	4.00	6.54	28	Las Vegas	15.71	4.68
3	Charlotte	4.21	6.51	29	St. Louis	15.91	4.65
4	Austin	6.50	6.15	30	Milwaukee	16.40	4.57
5	Dallas	6.50	6.15	31	Cincinnati	16.55	4.54
6	Houston	6.50	6.15	32	Pittsburgh	16.60	4.54
7	San Antonio	6.50	6.15	33	Portland	17.13	4.45
8	Phoenix	6.60	6.13	34	Providence	17.38	4.41
9	Atlanta	7.00	6.07	35	Philadelphia	17.38	4.41
10	Salt Lake City	7.50	5.99	36	Hartford	17.80	4.35
11	Jacksonville	7.60	5.97	37	Cleveland	17.90	4.33
12	Miami	7.60	5.97	38	Columbus	17.90	4.33
13	Orlando	7.60	5.97	39	Minneapolis	18.24	4.28
14	Tampa	7.60	5.97	40	Los Angeles	18.90	4.17
15	West Palm Beach	7.60	5.97	41	Sacramento	18.90	4.17
16	Norfolk	7.75	5.95	42	San Diego	18.90	4.17
17	Richmond	7.80	5.94	43	San Francisco	18.90	4.17
18	Denver	9.00	5.75	44	Seattle	20.00	4.00
19	Memphis	10.08	5.58	45	Chicago	20.11	3.98
20	New Orleans	10.30	5.54	46	Detroit	22.00	3.68
21	Nashville	10.50	5.51	47	Grand Rapids	22.00	3.68
22	Oklahoma City	10.60	5.49	48	New York	23.95	3.37
23	Louisville	11.92	5.28	49	KAWASAKI	26.10	3.02
24	Kansas City	12.66	5.16	50	Buffalo	26.60	2.94
25	Washington	12.98	5.11	51	Rochester	26.60	2.94
26	Indianapolis	14.50	4.87				

Source: Calculated based on data from Census of Population.

「人的資源」サブインデックス関連指標

失業者当たり失業給付金(平成12年度)	神奈川県労働局資料、単位 ドル
---------------------	-----------------

Rank	Unemployment payments per unemployed worker, 2000	ドル	正規化指数	Rank	City	正規化指数
1	KAWASAKI	1656.00	6.37	27	Kansas City	5.22
2	New Orleans	1673.15	6.36	28	Dallas	5.14
3	Atlanta	1930.76	6.19	29	Sacramento San Francisco	5.12
4	Richmond	1941.84	6.18	30	San Francisco	5.10
5	Phoenix	2000.93	6.14	31	Raleigh	5.10
6	Orlando	2343.57	5.92	32	Charlotte	5.03
7	San Antonio	2381.90	5.89	33	Louisville	4.99
8	Norfolk	2405.59	5.88	34	Buffalo	4.89
9	Jacksonville	2474.99	5.83	35	Rochester	4.80
10	Denver	2490.42	5.82	36	Greensboro	4.74
11	Austin	2531.03	5.79	37	Nashville	4.72
12	Washington	2603.81	5.74	38	Chicago	4.57
13	Los Angeles	2651.36	5.71	39	Las Vegas	4.42
14	Houston	2699.25	5.68	40	Minneapolis	4.28
15	Oklahoma City	2779.72	5.63	41	Portland	4.22
16	Miami	2790.70	5.62	42	Milwaukee Grand Rapids	4.20
17	Memphis	2798.35	5.62	43	Rapids	4.19
18	Tampa	2891.31	5.55	44	New York	4.17
19	West Palm Beach	3023.10	5.47	45	Detroit	4.06
20	San Diego	3097.48	5.42	46	Philadelphia	3.56
21	Cincinnati	3131.86	5.40	47	Providence	3.45
22	Cleveland	3171.05	5.37	48	Seattle	3.34
23	Columbus	3196.20	5.35	49	Pittsburgh	3.14
24	Indianapolis	3282.76	5.30	50	Hartford	1.99
25	Salt Lake City	3306.97	5.28	51	Boston	1.81
26	St. Louis	3383.01	5.23			

Source: Bureau of Labor Statistics and Census of Population. Estimated as weighted average of the component state data.

「人的資源」サブインデックス関連指標

失業率(平成 12年度)		国勢調査					
Rank	Unemployment rate, 2002 %	正規化 指数	Rank	正規化 指数			
1	Washington	3.7	6.94	27	Austin	5.7	4.83
2	Nashville	4.0	6.62	28	Kansas City	5.7	4.83
3	Richmond	4.0	6.62	29	Las Vegas	5.7	4.83
4	Oklahoma City	4.1	6.52	30	Phoenix	5.7	4.83
5	Norfolk	4.2	6.41	31	Seattle	5.7	4.83
6	Minneapolis	4.3	6.31	32	Denver	5.9	4.62
7	San Antonio	4.3	6.31	33	Houston	5.9	4.62
8	Columbus	4.4	6.20	34	Rochester	5.9	4.62
9	Hartford	4.5	6.10	35	San Diego	5.9	4.62
10	Indianapolis	4.6	5.99		West Palm Beach	5.9	4.62
11	Tampa	4.6	5.99	36	Beach	5.9	4.62
12	Boston	4.8	5.78	37	Milwaukee	6.0	4.52
13	Cincinnati	4.8	5.78	38	Buffalo	6.1	4.41
14	KAWASAKI	5.0	5.57	39	St. Louis	6.1	4.41
15	Raleigh	5.1	5.47	40	Detroit	6.2	4.31
16	Louisville	5.2	5.36	41	Greensboro	6.2	4.31
17	Memphis	5.2	5.36	42	Charlotte	6.3	4.20
18	Sacramento	5.2	5.36		Grand Rapids	6.4	4.10
19	Salt Lake City	5.2	5.36	43	Rapids	6.4	4.10
20	Atlanta	5.3	5.26	44	Cleveland	6.5	3.99
21	Jacksonville	5.3	5.26	45	Chicago	6.7	3.78
22	Orlando	5.3	5.26	46	Los Angeles	6.8	3.68
23	Providence	5.3	5.26		San Francisco	6.8	3.68
24	New Orleans	5.4	5.15	47	Francisco	6.8	3.68
25	Pittsburgh	5.4	5.15	48	Dallas	7.1	3.36
26	Philadelphia	5.5	5.05	49	New York	7.3	3.15
				50	Miami	7.7	2.73
				51	Portland	7.8	2.63

Source: US Bureau of Labor Statistics.

「人的資源」 サブインデックス関連指標

学位認定学 校に登録さ れた学生数 の人口千人 あたり比率 (平成12年 度)	各大学 資料
---	-----------

Rank	Total fall enrollment in degree-granting institutions per 1000 inhabitants, 2000		正規化 指標	Rank	正規化 指標		
	Salt Lake						
1	City	73.34	7.35	27	New Orleans	50.08	4.66
2	Providence	70.70	7.04	28	Charlotte	49.88	4.64
3	Phoenix	66.75	6.59	29	Pittsburgh	49.63	4.61
4	Los Angeles	66.63	6.57	30	New York	49.59	4.60
5	Sacramento	66.63	6.57	31	Austin	49.59	4.60
6	San Diego	66.63	6.57	32	Dallas	49.59	4.60
7	San Francisco	66.63	6.57	33	Houston	49.59	4.60
8	Boston	64.22	6.29	34	San Antonio	49.59	4.60
9	Denver	61.35	5.96	35	Washington	48.49	4.48
10	Kansas City	61.23	5.95	36	Cleveland	48.41	4.47
11	Minneapolis	59.57	5.76	37	Columbus	48.41	4.47
12	Chicago	59.30	5.73	38	Cincinnati	48.15	4.44
13	St. Louis	58.00	5.58	39	Louisville	47.71	4.39
14	Milwaukee	57.27	5.49	40	Memphis	47.48	4.36
15	Detroit	57.11	5.47	41	Philadelphia	47.41	4.35
16	Grand Rapids	57.11	5.47	42	Hartford	47.35	4.35
17	Buffalo	54.98	5.23	43	Nashville	46.39	4.23
18	Rochester	54.98	5.23	44	Las Vegas	46.22	4.22
19	Seattle	54.43	5.16	45	Jacksonville	44.28	3.99
20	Richmond	53.95	5.11	46	Miami	44.28	3.99
21	Norfolk	53.91	5.10	47	Orlando	44.28	3.99
22	Portland	53.65	5.07	48	Tampa	44.28	3.99
23	Indianapolis	51.70	4.85	49	West Palm Beach	44.28	3.99
24	Oklahoma City	51.59	4.84	50	Atlanta	42.29	3.76
25	Greensboro	50.27	4.68	51	KAWASAKI	24.21	1.67
26	Raleigh	50.27	4.68				

Source: Department of Education and US Census Bureau. Estimated as a weighted average of the component state data.

「人的資源」サブインデックス関連指標

Rank	労働力に占める15歳から64歳成人比率(平成12年度)	国勢調査	正規化 指数	Rank		正規化 指数
	% of adults aged 15-64 in the labor force, 2000					
1	KAWASAKI	95.09	8.82	27	West Palm Beach	77.86 4.94
	Grand					
2	Rapids	87.44	7.10	28	Nashville	77.63 4.89
3	Minneapolis	85.18	6.59	29	Chicago	77.26 4.81
4	Kansas City	84.96	6.54	30	Greensboro	77.21 4.79
5	Louisville	83.33	6.17	31	Richmond	76.91 4.73
6	Austin	82.84	6.06	32	Pittsburgh	76.66 4.67
7	Tampa	82.77	6.05	33	Hartford	76.55 4.65
8	Orlando	81.59	5.78	34	Raleigh	76.34 4.60
9	Portland	81.16	5.68	35	Sacramento	76.23 4.57
10	Columbus	81.01	5.65	36	Los Angeles	76.04 4.53
11	Milwaukee	80.88	5.62	37	Jacksonville	75.31 4.37
12	Dallas	80.73	5.59	38	Houston	75.26 4.36
	Salt Lake					
13	City	80.53	5.54	39	Philadelphia	75.24 4.35
	San				Oklahoma	
14	Francisco	80.22	5.47	40	City	75.20 4.34
15	St. Louis	79.94	5.41	41	Buffalo	74.52 4.19
16	Cincinnati	79.89	5.40	42	Memphis	74.51 4.19
17	Indianapolis	79.46	5.30	43	San Diego	74.21 4.12
18	Atlanta	79.12	5.22	44	San Antonio	74.10 4.09
19	Denver	79.03	5.20	45	Providence	73.80 4.03
20	Detroit	79.02	5.20	46	Las Vegas	73.65 3.99
21	Charlotte	78.71	5.13	47	Phoenix	73.58 3.98
22	Washington	78.21	5.02	48	Miami	72.45 3.72
23	Seattle	78.18	5.01	49	New York	72.03 3.63
24	Rochester	77.99	4.97	50	Norfolk	70.22 3.22
25	Cleveland	77.97	4.97	51	New Orleans	68.24 2.78
26	Boston	77.95	4.96			

Source : Calculated based on data from Bureau of Labor Statistics and Census of Population.

「人的資源」サブインデックス関連指標

		海外生まれ比率 (平成14年度)	区政課 資料				
Rank		% of population born abroad, 2002	正規化 指数	Rank		正規化 指数	
1	Miami	60.60	8.79	27	Jacksonville	8.50	4.66
2	Los Angeles	41.30	7.26	28	Columbus	8.10	4.63
3	San Diego	36.70	6.90	29	Cleveland	7.60	4.59
4	New York	36.00	6.84	30	Pittsburgh	7.30	4.57
5	Houston	28.10	6.22	31	Detroit	6.40	4.50
6	San Antonio	27.90	6.20	32	Atlanta	6.30	4.49
7	Boston	27.00	6.13	33	Cincinnati	6.20	4.48
8	Dallas	26.50	6.09	34	Kansas City	5.80	4.45
9	Sacramento	26.40	6.08	35	Seattle	5.70	4.44
10	Chicago	22.60	5.78	36	Indianapolis	4.90	4.38
11	Las Vegas	21.10	5.66	37	Buffalo	4.70	4.36
12	Phoenix	21.10	5.66	38	Memphis	4.20	4.32
13	Denver	20.20	5.59	39	New Orleans	3.40	4.26
14	Austin	19.60	5.54	40	Louisville	3.20	4.24
15	Minneapolis	17.60	5.38	41	KAWASAKI	1.98	4.14
					West Palm		
16	San Francisco	17.20	5.35	42	Beach	0.17	4.00
17	Washington	14.60	5.15	43	Providence	0.12	4.00
18	Tampa	14.00	5.10	44	Orlando	0.12	4.00
19	Portland	12.90	5.01	45	Hartford	0.10	4.00
20	Raleigh	12.30	4.96	46	Greensboro	0.06	3.99
21	Charlotte	12.00	4.94	47	Rochester	0.06	3.99
					Grand		
22	Salt Lake City	11.20	4.88	48	Rapids	0.05	3.99
23	Oklahoma City	10.50	4.82	49	Richmond	0.05	3.99
24	Philadelphia	10.00	4.78	50	Norfolk	0.04	3.99
25	Milwaukee	9.50	4.74	51	St. Louis	0.03	3.99
26	Nashville	9.00	4.70				

Source: US Census Bureau.

「人的資源」サブインデックス関連指標

1,000人当 たり乳児死 亡率	人口動 態調査 (厚労 省)
------------------------	-------------------------

Rank	Infant mortality rate, deaths per 1000 live births,1994	正規化 指数	Rank	正規化 指数		
1	KAWASAKI	4.96	6.98	27 Houston	8.00	5.02
2	Providence	5.20	6.82	28 Phoenix	8.10	4.95
3	Austin	5.30	6.76	West Palm		
4	Boston	5.70	6.50	29 Beach	8.10	4.95
5	Seattle	6.00	6.31	30 Nashville	8.20	4.89
6	San Francisco	6.10	6.24	31 Pittsburgh	8.40	4.76
7	Salt Lake City	6.40	6.05	32 St. Louis	8.40	4.76
8	Portland	6.50	5.99	33 Atlanta	8.50	4.70
9	San Diego	6.60	5.92	34 Indianapolis	8.50	4.70
10	Dallas	6.80	5.79	35 Raleigh	8.80	4.50
11	Denver	6.90	5.73	36 Tampa	8.80	4.50
12	Los Angeles	6.90	5.73	37 Philadelphia	8.90	4.44
13	Minneapolis	7.00	5.66	38 Louisville	9.20	4.25
14	Orlando	7.10	5.60	39 Norfolk	9.20	4.25
15	Jacksonville	7.20	5.53	40 Washington	9.20	4.25
16	Oklahoma City	7.30	5.47	41 Charlotte	9.30	4.18
17	Rochester	7.40	5.41	42 Cincinnati	9.30	4.18
18	Las Vegas	7.50	5.34	43 Hartford	9.30	4.18
19	Sacramento	7.50	5.34	44 Detroit	9.50	4.05
20	San Antonio	7.50	5.34	45 New Orleans	9.50	4.05
21	Kansas City	7.60	5.28	46 Chicago	9.70	3.92
22	Columbus	7.80	5.15	47 Richmond	9.80	3.86
23	Miami	7.80	5.15	48 Greensboro	9.90	3.79
24	Grand Rapids	7.90	5.08	49 Milwaukee	9.90	3.79
25	New York	7.90	5.08	50 Cleveland	10.10	3.67
26	Buffalo	8.00	5.02	51 Memphis	14.00	1.15

Source: US Census Bureau.

「人的資源」サブインデックス関連指標

10万人当たり医師数 (平成14年度)		医療施設調査					
Rank	Rate of Nonfederal Physicians per 100,000 inhabitants, 2002	正規 化指 数	Rank		正規 化指 数	正規 化指 数	
1	Boston	411.61	7.62	27	Miami	256.64	4.82
2	Buffalo	399.67	7.40	28	Orlando	256.64	4.82
3	Rochester	399.67	7.40	29	Tampa	256.64	4.82
					West Pal m		
4	New York	376.61	6.99	30	Beach	256.64	4.82
5	Providence	375.48	6.97	31	Nashville	256.29	4.81
6	Hartford	368.21	6.84	32	Portland	255.28	4.79
7	Pittsburgh	334.83	6.23	33	Milwaukee	252.63	4.75
8	Philadelphia	330.32	6.15	34	Denver	252.01	4.74
9	Washington	318.52	5.94	35	Kansas City	251.27	4.72
10	Detroit	280.55	5.25	36	Memphis	246.95	4.64
11	Grand Rapids	280.55	5.25	37	Greensboro	245.85	4.62
12	Cleveland	278.79	5.22	38	Raleigh	245.85	4.62
13	Columbus	278.79	5.22	39	Charlotte	243.76	4.59
14	Chicago	276.31	5.17	40	Louisville	224.04	4.23
15	Minneapolis	269.15	5.05	41	Indianapolis	218.59	4.13
16	St. Louis	268.59	5.04	42	Phoenix	218.31	4.13
17	Cincinnati	267.20	5.01	43	Austin	216.72	4.10
18	New Orleans	260.07	4.88	44	Dallas	216.72	4.10
19	Richmond	259.86	4.88	45	Houston	216.72	4.10
20	Seattle	259.70	4.87	46	San Antonio	216.72	4.10
21	Norfolk	259.69	4.87	47	Atlanta	214.98	4.07
					Salt Lake		
22	Los Angeles	258.20	4.85	48	City	207.10	3.92
					Oklahoma		
23	Sacramento	258.20	4.85	49	City	202.42	3.84
24	San Diego	258.20	4.85	50	Las Vegas	190.92	3.63
25	San Francisco	258.20	4.85	51	KAWASAKI	135.49	2.63
26	Jacksonville	256.64	4.82				

Source : Calculated based on Kaiser Family Foundation's State Health Facts
Estimated as a weighted average of the component state data.

「科学技術」サブインデックス関連指標

10万人当たり特許(平成12年度)		H12年度 神奈川県 特許登録 件数から 推測					
Rank	New patents issued per 100,000 inhabitants, 2000	正規化 指数	Rank		正規化 指数		
1	Rochester	145.31	8.40	27	Chicago	34.34	4.85
2	Austin	137.08	8.14	28	Buffalo	30.29	4.72
3	San Francisco	136.83	8.13	29	St. Louis	28.92	4.67
4	KAWASAKI	94.85	6.78		Los Angeles	28.06	4.64
5	Raleigh	84.94	6.47	30	Atlanta	27.09	4.61
6	Minneapolis	75.94	6.18	31	Washington	26.76	4.60
7	Boston	64.49	5.81	32	Providence	24.34	4.53
8	San Diego	61.97	5.73	33	Columbus	23.1	4.49
9	Cincinnati	48.44	5.30	34	Sacramento	22.86	4.48
10	Denver	47.27	5.26	35	Greensboro	18.99	4.35
11	Detroit	46.42	5.23	36	Charlotte	18.35	4.33
12	Portland	44.2	5.16	37	Tampa	16.94	4.29
13	Hartford	43.54	5.14	38	San Antonio	16.42	4.27
14	Seattle	40.91	5.06	39	Miami	16.19	4.26
15	Dallas	39.31	5.00	40	Louisville	16.11	4.26
16	Philadelphia	38.81	4.99	41	Kansas City	15.78	4.25
17	West Palm Beach	38.4	4.98	42	Memphis	15.2	4.23
18	Phoenix	38.23	4.97	43	Richmond	15.19	4.23
19	Houston	38.14	4.97	44	Oklahoma City	13.95	4.19
20	Milwaukee	37.86	4.96	45	Orlando	13.03	4.16
21	New York	37.79	4.96	46	Jacksonville	12.4	4.14
22	Salt Lake City	37.17	4.94	47	Nashville	11.95	4.13
23	Cleveland	36.76	4.92	48	Las Vegas	11.95	4.13
24	Indianapolis	35.4	4.88	49	New Orleans	10.42	4.08
25	Grand Rapids	35.36	4.88	50	Norfolk	8.45	4.02
26	Pittsburgh	34.7	4.86	51			

Source : Calculated based on data from Patent and Trademark Office and US Census Bureau.

「科学技術」サブインデックス関連指標

10万人当たり市内大学の理系大学院学生数(平成13年度)	各大学資料
------------------------------	-------

Rank	Science and engineering graduate students, per 100,000 inhabitants, 2001	正規化 人指数	Rank	City	正規化 指数		
1	Boston	358.33	7.81	27	Oklahoma City	197.36	5.05
2	Salt Lake City	338.19	7.47	28	St. Louis	196.60	5.03
3	Providence	328.90	7.31	29	Portland	195.76	5.02
4	Denver	294.84	6.72	30	Seattle	194.05	4.99
5	Buffalo	264.49	6.20	31	Chicago	184.93	4.83
6	Rochester	264.49	6.20	32	Cleveland	182.07	4.78
7	Richmond	251.88	5.98	33	Columbus	182.07	4.78
8	Norfolk	251.29	5.97	34	Cincinnati	174.04	4.64
9	New York	230.97	5.62	35	Phoenix	160.38	4.41
10	Pittsburgh	229.42	5.60	36	New Orleans	157.26	4.36
11	Washington	223.71	5.50	37	Austin	153.67	4.29
12	Hartford	218.85	5.41	38	Dallas	153.67	4.29
13	Philadelphia	216.31	5.37	39	Houston	153.67	4.29
14	Kansas City	211.34	5.29	40	San Antonio	153.67	4.29
15	Milwaukee	211.26	5.28	41	Nashville	151.94	4.26
16	Los Angeles	206.60	5.20	42	Louisville	151.29	4.25
17	Sacramento	206.60	5.20	43	Memphis	150.32	4.24
18	San Diego	206.60	5.20	44	Atlanta	144.32	4.13
19	San Francisco	206.60	5.20	45	Jacksonville	120.33	3.72
20	Indianapolis	206.51	5.20	46	Miami	120.33	3.72
21	Minneapolis	206.45	5.20	47	Orlando	120.33	3.72
22	Detroit	202.43	5.13	48	Tampa	120.33	3.72
23	Grand Rapids	202.43	5.13	49	West Palm Beach	120.33	3.72
24	Greensboro	202.30	5.13	50	Las Vegas	83.87	3.09
25	Raleigh	202.30	5.13	51	KAWASAKI	65.92	2.79
26	Charlotte	199.37	5.08				

Source: National Science Foundation and US Census Bureau. Estimated as a weighted average of the component state data.

「科学技術」サブインデックス関連指標

労働力に占める科学者、技術者の比率(平成13年度)		事業所・企業統計調査					
Rank	% of scientists and engineers in the labor force, 1999	%	正規化指数	Rank		正規化指数	
1	Boston	17.63	7.85	27	Atlanta	8.50	4.77
					Oklahoma		
2	Washington	17.20	7.71	28	City	8.47	4.76
3	Denver	14.67	6.85	29	Chicago	8.23	4.68
4	Greensboro	13.31	6.40	30	Austin	8.19	4.67
5	Raleigh	13.31	6.40	31	Dallas	8.19	4.67
6	Charlotte	12.66	6.18	32	Houston	8.19	4.67
					Salt Lake		
7	San Francisco	12.40	6.09	33	City	8.19	4.67
8	Buffalo	12.17	6.01	34	Phoenix	8.15	4.66
9	Rochester	12.17	6.01	35	Cleveland	7.62	4.48
10	Hartford	11.81	5.89	36	Columbus	7.62	4.48
11	New York	11.08	5.64	37	Pittsburgh	7.50	4.44
12	Minneapolis	10.82	5.56	38	Indianapolis	7.39	4.40
13	Norfolk	10.67	5.51	39	Cincinnati	7.22	4.34
14	Richmond	10.64	5.50	40	Nashville	6.71	4.17
15	Portland	10.56	5.47	41	Memphis	6.55	4.12
16	Providence	10.53	5.46	42	Jacksonville	5.86	3.88
17	Los Angeles	10.30	5.38	43	Miami	5.86	3.88
18	Sacramento	10.30	5.38	44	Orlando	5.86	3.88
19	San Antonio	10.30	5.38	45	Tampa	5.86	3.88
					West Palm		
20	San Diego	10.30	5.38	46	Beach	5.86	3.88
21	Kansas City	9.78	5.21	47	Louisville	5.57	3.79
22	Detroit	9.14	4.99	48	Milwaukee	5.12	3.63
					New		
23	Grand Rapids	9.14	4.99	49	Orleans	4.95	3.58
24	Seattle	8.93	4.92	50	KAWASAKI	4.73	3.50
25	St. Louis	8.73	4.85	51	Las Vegas	4.27	3.35
26	Philadelphia	8.52	4.78				

Source: National Science Foundation and Bureau of Labor Statistics. Estimated weighted average of the component state data.

「金融」サブインデックス関連指標

1人当たり預金額(平成6年度)		社会生活統計指標				
Rank	Bank deposits per capita,1996	ドル	正規化指数	Rank		正規化指数
1	KAWASAKI	30041.9	9.63	27	Grand Rapids	4.74
2	New York	19945.9	7.16	28	Dallas	4.67
3	Hartford	17652.2	6.60	29	Seattle	4.67
4	Richmond	16264.8	6.26	30	Indianapolis	4.66
5	Boston	16161.1	6.23	31	Rochester	4.64
6	Pittsburgh	16121.4	6.22	32	Memphis	4.63
7	Providence	15438.5	6.06	33	New Orleans	4.61
8	Philadelphia	14572.4	5.84	34	Raleigh	4.56
9	Greensboro	13555.6	5.60	35	Detroit	4.52
10	Chicago	13510.5	5.59	36	Washington	4.48
11	Charlotte	13154.3	5.50	37	Houston	4.40
12	San Francisco	12992.1	5.46	38	Phoenix	4.39
13	Buffalo	12474.4	5.33	39	Denver	4.38
14	Miami	12381.0	5.31	40	Portland	4.36
15	Milwaukee	12328.1	5.30	41	Jacksonville	4.33
16	Louisville	12217.9	5.27	42	Oklahoma City	4.30
17	Nashville	11833.3	5.17	43	Orlando	4.26
18	St. Louis	11591.7	5.12	44	Los Angeles	4.19
19	Columbus	11474.2	5.09	45	Salt Lake City	4.15
20	Atlanta	11285.7	5.04	46	Las Vegas	3.94
21	Tampa	11079.1	4.99	47	Austin	3.91
22	Kansas City	10838.5	4.93	48	San Antonio	3.90
23	Cincinnati	10807.2	4.92	49	San Diego	3.88
24	West Palm Beach	10571.5	4.87	50	Sacramento	3.74
25	Minneapolis	10382.8	4.82	51	Norfolk	3.62
26	Cleveland	10203.6	4.78			

Source: Calculated based on data from Census Bureau.

「金融」サブインデックス関連指標

ベンチャーキャピタル投資の 市内総生産に対するパーセン ト(平成16年度)	KSP 資料、 市民 経済 計算
---	------------------------------

Rank	Venture capital as % of GMP,1999	%	正規 化指 数	Rank		正規化 指数
1	San Francisco	5.5	10.74	27	Pittsburgh	0.2 4.72
2	Seattle	2.7	7.56	28	Hartford	0.2 4.72
3	Austin	1.8	6.54	29	Louisville	0.2 4.72
4	Boston	1.5	6.20	30	Salt Lake City	0.1 4.61
					West Palm	
5	Raleigh	1.4	6.08	31	Beach	0.1 4.61
6	Denver	1.2	5.86	32	Houston	0.1 4.61
7	San Diego	1.0	5.63	33	Charlotte	0.1 4.61
8	Providence	0.5	5.06	34	San Antonio	0.1 4.61
9	Grand Rapids	0.5	5.06	35	Cincinnati	0.1 4.61
					Oklahoma	
10	Washington	0.4	4.95	36	City	0.1 4.61
11	Portland	0.4	4.95	37	Tampa	0.1 4.61
12	Atlanta	0.4	4.95	38	Buffalo	0.1 4.61
13	Minneapolis	0.4	4.95	39	Milwaukee	0.1 4.61
14	Los Angeles	0.4	4.95	40	New Orleans	0.1 4.61
15	Orlando	0.3	4.83	41	Cleveland	0.0 4.49
16	St. Louis	0.3	4.83	42	Columbus	0.0 4.49
17	New York	0.3	4.83	43	Detroit	0.0 4.49
18	Las Vegas	0.3	4.83	44	Jacksonville	0.0 4.49
19	Miami	0.3	4.83	45	Kansas City	0.0 4.49
20	Rochester	0.3	4.83	46	Norfolk	0.0 4.49
21	Nashville	0.2	4.72	47	Richmond	0.0 4.49
22	Chicago	0.2	4.72	48	Indianapolis	0.0 4.49
23	Philadelphia	0.2	4.72	49	Greensboro	0.0 4.49
24	Phoenix	0.2	4.72	50	Memphis	0.0 4.49
25	Dallas	0.2	4.72	51	KAWASAKI	0.0 4.49
26	Sacramento	0.2	4.72			

Source: Progress we Policy Institute and Center for Regional Economic Issues.

「オープン性」サブインデックス関連指標

1人当たり輸出額(平成12年度)	12年度川崎市産業連関表中の輸出額
------------------	-------------------

Rank	Exports per capita, 1999	ドル	正規化指数	Rank	正規化指数
1	Seattle	9708.6	9.13	27	Louisville 2378.8 4.81
2	San Francisco	6912.8	7.49	28	Philadelphia 2362.1 4.80
3	Detroit	5653.2	6.74	29	Los Angeles 2299.9 4.77
4	KAWASAKI	4892.4	6.29	30	Atlanta 1963.8 4.57
5	Richmond	4771.3	6.22	31	Buffalo 1948.5 4.56
6	Portland	4377.5	5.99	32	Charlotte 1941.1 4.55
7	Minneapolis	4317.8	5.96	33	St. Louis 1899.2 4.53
8	Austin	4303.0	5.95	34	Kansas City 1882.9 4.52
9	Houston	4220.9	5.90	35	New Orleans 1845.3 4.50
10	Rochester	4049.9	5.80	36	Salt Lake City 1772.4 4.46
11	Miami	3862.8	5.69	37	Pittsburgh 1690.2 4.41
12	Greensboro	3657.1	5.57	38	Nashville 1567.4 4.33
13	Cincinnati	3513.7	5.48	39	Providence 1380.9 4.22
14	Hartford	3377.3	5.40	40	Sacramento 1342.7 4.20
15	Indianapolis	3375.5	5.40	41	Columbus 1320.3 4.19
16	San Diego	3177.7	5.28	42	Washington 1296.6 4.17
17	Grand Rapids	3094.4	5.23	43	San Antonio 1280.4 4.16
18	Memphis	2837.1	5.08	44	Tampa 1055.1 4.03
19	Boston	2816.4	5.07	45	Orlando 977.2 3.99
20	Cleveland	2783.5	5.05	46	Denver 957.1 3.97
					West Palm
21	Raleigh	2696.7	5.00	47	Beach 903.7 3.94
22	New York	2538.2	4.91	48	Norfolk 889.6 3.93
23	Chicago	2507.6	4.89	49	Jacksonville 754.4 3.85
24	Phoenix	2499.1	4.88	50	Oklahoma City 502.7 3.71
25	Dallas	2476.7	4.87	51	Las Vegas 500.0 3.70
26	Milwaukee	2403.1	4.83		

Source : Calculated based on data from International Trade Administration and US Census Bureau.

「国内競争」サブインデックス関連指標

10万人あたりの純事業所 数増減(平成8年度～13 年度の平均)	事業所・企 業統計調 査
--	--------------------

Rank	Net firm creation per 100,000 inhabitants, 1998-99	標準化 指数	Rank	標準化 指数			
1	Las Vegas	92.1	8.04	27	Norfolk	4.2	4.68
2	Boston	55.1	6.63	28	Columbus	2.7	4.63
3	West Palm Beach	54.2	6.59	29	Providence	2.1	4.60
4	Raleigh	53.3	6.56	30	Tampa	1.9	4.60
					Grand		
5	Atlanta	50.0	6.43	31	Rapids	1.8	4.59
6	Charlotte	46.8	6.31	32	Philadelphia	1.8	4.59
7	Denver	44.1	6.21	33	Richmond	0.8	4.55
8	Minneapolis	43.3	6.18	34	Milwaukee	-1.4	4.47
					Salt Lake		
9	San Francisco	40.6	6.07	35	City	-2.5	4.43
10	Orlando	39.3	6.02	36	Indianapolis	-2.6	4.42
11	Sacramento	38.3	5.98	37	Rochester	-3.0	4.41
12	Austin	35.2	5.87	38	Detroit	-6.2	4.29
13	San Antonio	31.3	5.72	39	Cleveland	-6.5	4.27
14	Seattle	30.1	5.67	40	Cincinnati	-6.8	4.26
15	Phoenix	30.0	5.67	41	Miami	-7.4	4.24
					Oklahoma		
16	Los Angeles	27.7	5.58	42	City	-7.6	4.23
17	Kansas City	22.0	5.36	43	San Diego	-8.2	4.21
18	St. Louis	16.9	5.17	44	Pittsburgh	-8.9	4.18
19	Jacksonville	14.5	5.08	45	Nashville	-9.5	4.16
					New		
20	Washington	13.2	5.03	46	Orleans	-12.5	4.05
21	Chicago	12.7	5.01	47	Hartford	-14.0	3.99
22	Greensboro	12.5	5.00	48	Memphis	-15.2	3.94
23	Houston	12.3	4.99	49	Louisville	-17.2	3.87
24	Portland	10.9	4.94	50	Buffalo	-28.6	3.43
25	New York	10.2	4.91	51	KAWASAKI	-60.2	2.22
26	Dallas	4.3	4.69				

Source: Calculated based on data from US Census Bureau.

「環境政策」サブインデックス関連指標

電力料金(1MBTU、平成18年度)		東京電力					
Rank	Electricity prices, \$ per but, 2000	ドル	正規化指数	Rank		正規化指数	
1	Seattle	12.7	6.36	27	Dallas	19.2	5.31
2	Louisville	13.0	6.31	28	Houston	19.2	5.31
3	Portland	14.1	6.13	29	San Antonio	19.2	5.31
4	Salt Lake City	14.3	6.10	30	Chicago	20.0	5.18
5	Indianapolis	15.2	5.95	31	Jacksonville	20.2	5.15
6	Nashville	16.4	5.76	32	Miami	20.2	5.15
7	Memphis	16.7	5.71	33	Orlando	20.2	5.15
8	Milwaukee	16.8	5.70	34	Tampa	20.2	5.15
					West Palm		
9	Minneapolis	17.2	5.63	35	Beach	20.2	5.15
10	Oklahoma City	17.3	5.62	36	Detroit	20.9	5.03
					Grand		
11	Denver	17.3	5.62	37	Rapids	20.9	5.03
12	Richmond	17.4	5.60	38	Phoenix	21.3	4.97
13	Norfolk	17.4	5.60	39	Pittsburgh	22.5	4.77
14	Cincinnati	17.5	5.58	40	Philadelphia	23.6	4.60
15	Washington	17.6	5.57	41	Los Angeles	27.8	3.92
16	Kansas City	17.9	5.52	42	Sacramento	27.8	3.92
17	Atlanta	18.3	5.45	43	San Diego	27.8	3.92
					San		
18	St. Louis	18.3	5.45	44	Francisco	27.8	3.92
19	Las Vegas	18.4	5.44	45	Hartford	27.9	3.90
20	Charlotte	18.7	5.39	46	Boston	28.5	3.80
21	Cleveland	18.8	5.37	47	Providence	29.4	3.66
22	Columbus	18.8	5.37	48	New York	31.1	3.38
23	Greensboro	19.0	5.34	49	Buffalo	33.4	3.01
24	Raleigh	19.0	5.34	50	Rochester	33.4	3.01
25	New Orleans	19.1	5.32	51	KAWASAKI	47.3	0.77
26	Austin	19.2	5.31				

Source: Energy Information Administration and Census Bureau. Estimated as a weighted average of the component state data.

「環境政策」サブインデックス関連指標

深刻な汚染の年間日数(平成 11年度)		市公害 部資料				
Rank	Serious pollution days per annum,1999	日	正規化 指数	Rank	正規化 指数	
1	Minneapolis	0.0	6.05	27	Providence	1.1
2	Seattle	0.0	6.05	28	Rochester	1.1
3	Portland	0.1	5.97	29	Cincinnati	1.2
4	West Palm Beach	0.1	5.97	30	Hartford	1.2
5	Denver	0.2	5.88	31	Cleveland	1.2
6	Salt Lake City	0.2	5.88	32	Washington	1.3
7	Jacksonville	0.2	5.88	33	Norfolk	1.3
8	San Francisco	0.2	5.88	34	Sacramento	1.5
9	Tampa	0.2	5.88	35	Louisville	1.7
10	Kansas City	0.2	5.88	36	Raleigh	1.7
11	Chicago	0.3	5.80	37	Charlotte	1.8
					New	
12	Miami	0.3	5.80	38	Orleans	1.8
13	Las Vegas	0.3	5.80	39	New York	1.9
14	Orlando	0.3	5.80	40	Greensboro	1.9
15	Boston	0.4	5.71	41	KAWASAKI	2.0
16	Buffalo	0.4	5.71	42	Columbus	2.1
17	Detroit	0.5	5.63	43	Nashville	2.1
18	St. Louis	0.5	5.63	44	San Antonio	2.3
19	Oklahoma City	0.6	5.54	45	Richmond	2.3
					Grand	
20	Pittsburgh	0.6	5.54	46	Rapids	2.3
21	San Diego	0.6	5.54	47	Houston	2.3
22	Phoenix	0.7	5.46	48	Memphis	2.6
23	Indianapolis	0.8	5.37	49	Atlanta	3.8
24	Milwaukee	0.8	5.37	50	Dallas	3.9
25	Philadelphia	0.9	5.29	51	Austin	6.3
26	Los Angeles	0.9	5.29			

Source: US Environmental Protection Agency.